

北九州市公報

発行所
北九州市小倉北区内1番1号
北九州市役所

監査公表

定期監査

産業経済局、港湾空港局及び上下水道局（工事監査）
……（監査公表第 3号）…… 1

定期監査

建築都市局（工事監査）
……（監査公表第 4号）…… 1 8

定期監査

建設局、上下水道局及び区役所まちづくり整備課（工事監査）
……（監査公表第 5号）…… 2 3

定期監査

環境局、教育委員会（工事監査）
……（監査公表第 6号）…… 3 7

定期監査

市民文化スポーツ局、保健福祉局
……（監査公表第 7号）…… 4 5

財政援助団体等監査

財政援助団体
（北九州マラソン実行委員会）
（公益財団法人北九州産業学術推進機構）
（北九州市障害者スポーツ協会）
公の施設の指定管理者
（株式会社ウインドシップ北九州）
（株式会社椀組）
（株式会社スピナ）
（戸畑スポーツコミュニティ共同事業体）
（社会福祉法人北九州市社会福祉協議会）
（社会福祉法人春秋会）
（社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会）
（公益財団法人北九州市身体障害者福祉協会）
……（監査公表第 8号）…… 4 9

財政援助団体等監査

出資団体
（社会福祉法人北九州市福祉事業団）
……（監査公表第 9号）…… 5 2

定期監査

環境局、上下水道局
……（監査公表第10号）…… 6 0

財政援助団体等監査

財政援助団体

(北九州E S D協議会)

(北九州エコライフステージ実行委員会)

(公立大学法人北九州市立大学)

公の施設の指定管理者

(タカミヤ・マリバー里山を考える会共同事業体)

(ひびき灘開発株式会社)

…… (監査公表第11号) …… 63

財政援助団体等監査

出資団体

(公益財団法人北九州市環境整備協会)

(公益財団法人北九州国際技術協力協会)

(株式会社北九州ウォーターサービス)

(公益財団法人北九州市芸術文化振興財団)

…… (監査公表第12号) …… 65

北九州市監査委員

北九州市監査公表第3号

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均（平成30年6月30日辞任）、同 井上 勲（平成30年7月1日就任）、同 廣瀬 隆明、同 香月 耕治、同 福島 司により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、産業経済局、港湾空港局及び上下水道局（上水関係に限る）において施工する工事（工事に伴う調査設計、除草、浚渫及びエレベーター・エスカレーターの設備点検等に係わる業務委託を含む。以下、同じ。）で、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに完了（予定を含む。）した工事及び前記対象期間中に債務負担行為により継続中の工事を対象とした。

2 監査の方法

監査に必要な資料の提出を求め、表1、表2、表3のとおり工事等を抽出し、それぞれ事務手続、設計・積算及び施工について、事務が適正に執行されているか等を主眼に、関係書類の審査及び現地実査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

表 1 工事の抽出（産業経済局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	19	499,618	10	363,028	別表 1 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	355	223,423	52	68,948	別表 2 参照

表 2 工事の抽出（港湾空港局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	96	6,838,208	29	2,066,293	別表 3 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	375	214,058	41	47,566	別表 4 参照

表 3 工事の抽出（上下水道局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	396	10,162,598	42	3,072,128	別表 5 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	151	137,935	39	44,383	別表 6 参照

3 監査の期間

平成 30 年 4 月 19 日から平成 30 年 8 月 22 日まで

4 監査の結果

(1) 産業経済局

監査の結果、工事の事務手続、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていた。

(2) 港湾空港局

監査の結果、工事の事務手続、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていたが、一部に次のような事項が認められた。これについては、適切な措置を講じられたい。

※ [] 内の数字は、「別表3 本工事抽出一覧表」の番号を示す。

ア 工事費の積算について

(整備保全課)

[11] 改修(統合)戸畑浮棧橋設置工事(28)

本工事は、若戸渡船における戸畑側浮棧橋の老朽化のため、浮棧橋、連絡橋及びそれらを覆う屋根を新規に製作し、現渡船場の東側に仮設置するものである。

工事費の積算にあたり、連絡橋を除く、屋根及び浮棧橋等については、建設資材価格特別調査により資材価格を決定しているが、このうち屋根塗装の価格には素地調整及び下塗りを含み、中塗り及び上塗りは含まれていない。

しかし、屋根塗装の積算にあたって、素地調整から上塗りまでの費用を計上したため、屋根塗装に係る素地調整及び下塗りの費用が二重計上となっていた。

また、中塗り及び上塗りは現場塗装であるにも関わらず、工場塗装歩掛を適用したため、不適切な積算となっていた。

工事の積算にあたっては、所定の基準書等を遵守し、適切に行われたい。

イ 工事の施工管理について

(整備保全課)

[28] 改修(統合)北湊物揚場(-3.5m)工事(29)

本工事は、若松区大字安瀬の北湊地区において、物揚場の劣化したコンクリート部分を除去し、新たに断面修復材でコンクリート断面を復元するものである。

土木工事の施工管理においては、工程管理、出来形管理、品質管理及び写真管理の方法が、土木工事施工管理基準によって定められている。また、この基準が定められていない工種については、監督員と協議の上、施工管理を行うことになっている。

本工事の断面修復工は、土木工事施工管理基準に定めがないため、監

督員と受注者との協議がなされ、出来形管理等を決定している。しかし、決定した断面修復工の出来形管理においては、測定箇所は縦横の「幅」のみであり、「厚さ」は対象となっていなかった。また、施工後に行う断面修復工の写真管理においては、全箇所「幅」とともに「厚さ」を撮影することになっていたが、「厚さ」を撮影していなかった。

このため、契約図書に定められた断面修復材の適正な施工数量を把握できず、不適切な施工管理となっていた。

管理基準が定められていない工種は、土木工事施工管理基準を遵守し、管理項目及び方法を定め、施工管理を適切に行われたい。

(3) 上下水道局

監査の結果、工事の事務手続、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていた。

別表1 本工事抽出一覧表（産業経済局）

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	企業支援・ 産学連携部 企業立地 支援課	北九州空港跡地産業団 地外環境整備業務委託 (小倉南区曾根北町 2633-15)	除草及 び清掃	指名	1,981	29.10.3 29.11.17
2	農林水産部 農林課	合馬線林道開設工事 (2工区) (小倉南区大字合馬)	擁壁工, 排水施 設工	指名	22,832	29.7.27 30.2.12
3	農林水産部 農林課	辻三線林道改築工事 (小倉南区大字辻三)	法面工, 排水施 設工	指名	10,190	29.9.14 30.2.17
4	農林水産部 水産課	長浜地区産卵礁造成工 事(29) (小倉北区許斐町地先)	産卵礁 沈設	指名	7,690	29.12.28 30.3.26
5	農林水産部 水産課	曾根漁港道路②(上部 工)整備工事(29) (小倉南区大字曾根新田 地先)	PC桁橋 上部工	指名	73,224	29.6.22 30.3.30
6	農林水産部 水産課	曾根漁港道路②(下部 工)整備工事(29) (小倉南区大字曾根新田 地先)	鋼管杭 工,下部 工	一般	128,736	29.8.24 30.3.30
7	農林水産部 水産課	脇之浦地区増殖場造成 及び藍島漁港-3m岸 壁整備工事(29) (若松区響町三丁目地先 ほか)	増殖場 造成, 岸壁整 備	一般	99,777	29.7.20 30.3.16
8	農林水産部 水産課	脇田漁港G防波堤補修 工事(29) (若松区大字安屋地先)	被覆・ 根固工	指名	4,536	29.11.2 30.3.15
9	農林水産部 水産課	脇田漁港草刈業務委託 (29) (若松区大字安屋)	草刈,せ ん定	指名	3,478	29.6.16 29.11.30

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
10	西部 農政事務所	弘川第一水路浚渫業務 委託(その1) (若松区大字弘川)	水路浚渫	指名	10,584	29.11.30 30.3.30
計				10件	363,028千円	

別表2 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（産業経済局）

部 名	課 名	対象工事		摘要
		件数	金額 (千円)	
総務政策部	雇用政策課	2	3,359	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水改修工事 ・空調設備修繕工事 ・栈橋補修工事 ・トイレ改修工事 ・広場整備工事 ・会議室改修工事 ・外壁改修工事 ・フェンス設置工事 ・照明灯LED化設計業務委託 ・護岸補修工事 ・林道復旧工事 ・農地災害復旧工事
	渡船事業所	2	2,094	
新成長戦略推進部	産業政策課	4	7,359	
企業支援・産学連携部	新産業振興課	1	1,173	
観光にぎわい部	観光課	2	1,560	
	MICE推進課	1	1,805	
	門司港レトロ課	3	2,930	
農林水産部	農林課	2	2,379	
	水産課	6	6,042	
	東部農政事務所	5	9,653	
	西部農政事務所	14	17,220	
	総合農事センター	2	3,057	
中央卸売市場		8	10,317	
合 計		52	68,948	

別表3 本工事抽出一覧表（港湾空港局）

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	港営課	太刀浦第1CT他港湾保安対策用UPS更新工事 (門司区太刀浦海岸ほか)	UPS更新工事	一般	14,165	29.9.28 30.3.15
2	港営課	太刀浦7号クレーン海側走行装置取替他工事 (門司区太刀浦海岸)	軸受等の取替	随契	102,600	29.8.2 30.3.15
3	物流振興課	新門司地区分譲地除草業務委託 (門司区新門司北一丁目)	除草	指名	2,268	29.12.27 30.3.31
4	整備保全課	日明東1～5号緑地他除草剪定業務委託(29) (小倉北区西港町ほか)	緑地除草	指名	2,614	29.8.3 29.9.30
5	整備保全課	響灘2号道路他除草業務委託(29) (若松区響町一丁目ほか)	道路除草	指名	2,448	29.8.16 29.11.14
6	整備保全課	響灘南11号道路他除草業務委託(29-3) (若松区響町一丁目)	道路除草	指名	2,249	29.8.28 29.11.24
7	整備保全課	響灘貯木場1号道路他除草業務委託(29) (若松区響町一丁目)	道路除草	指名	4,346	29.9.19 29.12.8
8	整備保全課	響灘臨海工業団地内樹木せん定業務委託 (若松区響町一丁目)	道路除草	随契	8,935	29.10.27 30.1.15
9	整備保全課	片上海岸物揚場実施設計業務委託(29) (門司区片上海岸)	数量及び図面作成	指名	1,350	29.10.16 30.1.31
10	整備保全課	廃棄物響灘東護岸(被覆ブロック製作)工事(28-4) (若松区響町二丁目)	被覆ブロック製作	指名	66,284	29.3.2 29.9.15

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
11	整備保全課	改修(統合)戸畑浮棧橋設置工事(28) (戸畑区川代二丁目)	浮棧橋 連絡橋	指名	196,079	29.3.30 30.3.15
12	整備保全課	廃棄物響灘東(西)護岸基礎工事(28) (若松区響灘二丁目地先)	基礎工	一般	210,456	29.4.20 29.12.31
13	整備保全課	廃棄物響灘東(東)護岸外基礎工事(28) (若松区響灘二丁目地先)	基礎工	一般	213,673	29.4.20 29.12.31
14	整備保全課	改修(統合)奥洞海航路磁気探査業務委託(29) (若松区南二島地先)	磁気探査業務	指名	3,485	29.7.6 29.12.28
15	整備保全課	廃棄物響灘東(東)護岸基礎工事(29) (若松区響町二丁目地先)	基礎工	一般	216,001	29.7.6 29.12.31
16	整備保全課	廃棄物響灘東(東)護岸基礎工事(29-2) (若松区響町二丁目地先)	基礎工	一般	202,639	29.7.6 29.12.31
17	整備保全課	改修(統合)奥洞海航路異常点探査業務委託(29) (若松区南二島地先)	設標 27 地点、 潜水探査	指名	6,125	29.7.13 29.11.30
18	整備保全課	改修響灘西道路工事(29) (若松区響町三丁目)	道路土工、舗装工	指名	19,369	29.8.3 29.12.30
19	整備保全課	響灘東地区道路補修工事(29) (若松区響町一丁目)	道路土工、舗装工	指名	54,985	29.8.3 30.3.15
20	整備保全課	井ノ浦航路異常点探査業務委託(29) (門司区大字恒見地先)	設標 25 地点、 潜水探査	指名	2,919	29.9.7 29.12.15

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
21	整備保全課	改修響灘西防波堤(ケーソン他製作)工事(29) (若松区響町三丁目)	ケーソン製作	指名	101,773	29.9.7 30.2.28
22	整備保全課	廃棄物響灘東護岸(消波ブロック製作)工事(29) (若松区響町二丁目)	消波ブロック製作	指名	83,127	29.9.14 30.3.15
23	整備保全課	改修(統合)若松漁船だまり工事(29) (若松区浜町一丁目地先)	床堀、捨石投入	一般	106,339	29.9.28 30.3.15
24	整備保全課	海岸(高潮)新門司北護岸(消波ブロック製作)工事(29) (門司区新門司北二丁目)	消波ブロック製作	指名	56,664	29.10.5 30.3.15
25	整備保全課	高浜護岸工事(29) (小倉北区高浜二丁目)	場所打擁壁工 表層工	指名	18,301	29.10.26 30.3.15
26	整備保全課	改修(統合)奥洞海航路他浚渫工事(29) (若松区南二島地先ほか)	グラブ浚渫工	指名	250,023	29.10.26 30.3.15
27	整備保全課	環境響灘東地区南緑地工事(29) (若松区響町二丁目)	法面保護工	指名	45,666	29.11.2 30.3.15
28	整備保全課	改修(統合)北湊物揚場(-3.5m)工事(29) (若松区大字安瀬)	ひび割れ注入工	指名	62,770	29.11.2 30.3.15
29	整備保全課	改修(統合)若松浮棧橋(連絡橋)設計業務委託(29) (若松区本町一丁目地先)	連絡橋の設計	随契	8,640	30.1.12 30.3.30
計				29件	2,066,293千円	

別表4 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（港湾空港局）

部 名	課 名	対象工事		摘 要
		件数	金額 (千円)	
総 務 部	総 務 課	2	2,128	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎受電設備改修工事 ・ 非常口ドア更新工事 ・ 物揚場照明灯設置工事 ・ 港湾施設補修工事 ・ 海浜緑地標識設置工事 ・ 緑地除草剪定業務委託 ・ 中央分離帯改良工事 ・ 道路区画線設置工事
港 営 部	港 営 課	14	18,017	
整備保全部	整備保全課	25	27,421	
合 計		41	47,566	

別表5 本工事抽出一覧表（上下水道局）

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	水道部 設計課	山ノ岬配水池（3,4号池）更新工事 (八幡西区幸神二丁目地内ほか)	配水池 築造工	一般	149,593	28.12.22 30.3.30
2	水道部 設計課	祇園三丁目他配水管布設替設計及び測量業務委託 (八幡東区祇園三丁目地内ほか)	配水管 布設替 設計	指名	9,073	28.12.8 29.6.22
3	水道部 設計課	八重洲町他地質調査業務委託 (小倉南区八重洲町地内ほか)	機械ボ ーリン グ	指名	4,318	29.3.30 29.9.29
4	水道部 設計課	永犬丸配水池管理道設計業務委託 (八幡西区大字永犬丸地内ほか)	道路設 計業務	指名	3,505	29.4.20 30.1.31
5	水道部 設計課	下曾根二丁目不断水分岐管設置工事 (小倉南区下曾根二丁目地内)	不断水 分岐管 設置工	指名	25,056	29.4.20 30.3.31
6	水道部 設計課	穴生浄水場内戻水池他耐震補強補修工事实施設計業務委託 (八幡西区鷹の巣三丁目地内ほか)	実施設 計	一般	33,949	29.1.19 29.10.16
7	水道部 設計課	北九州市工業用水道送水管布設替(推進)工事 (29-1工区) (八幡西区相生町地内ほか)	密閉型 推進工 φ900	一般	116,850	29.6.15 30.3.15
8	水道部 設計課	清見二丁目他配水管布設替工事 (門司区清見二丁目地内ほか)	鋳鉄管 据付工 φ350	一般	90,937	29.6.15 30.1.16

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
9	水道部 設計課	北九州市工業用水道配 水管布設替(推進)工 事(29-1工区) (八幡東区東田一丁目地内)	泥水式 推進工 φ900	一 般	108,140	29.7.20 30.3.20
10	水道部 設計課	北九州市工業用水道配 水管布設替工事(29-3 工区) (戸畑区千防二丁目地内)	鑄鉄管 布設工 φ600	一 般	49,511	29.7.6 30.2.15
11	水道部 設計課	山王一丁目不断水分岐 管設置工事 (八幡東区山王一丁目地内)	割丁字 管及び 仕切弁 取付工	指 名	2,311	29.7.6 29.12.13
12	水道部 設計課	新高田二丁目他不断水 切替弁設置工事 (小倉北区新高田二丁目 地内ほか)	不断水 水分岐 工事	指 名	43,308	29.7.6 30.1.22
13	水道部 設計課	別所・山ノ岬系送水管 布設替工事(29-1 工区) (八幡西区鉄王二丁目地 内ほか)	鑄鉄管 据付工 φ800	一 般	70,671	29.7.27 30.3.19
14	水道部 設計課	水巻町頃末南三丁目他 配水管布設替工事 (遠賀郡水巻町頃末南三 丁目地内ほか)	水管橋 φ200	随 契	13,436	29.8.30 30.2.23
15	水道部 設計課	水巻町吉田西三丁目他 配水管布設替工事 (遠賀郡水巻町吉田西三 丁目地内ほか)	鑄鉄管 据付工 φ350	指 名	19,160	29.7.27 30.1.15
16	水道部 設計課	足立一丁目他配水管布 設替(推進)工事 (小倉北区足立一丁目地 内ほか)	泥濃式 推進工 φ800	一 般	114,264	29.11.9 30.8.21

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
17	水道部 設計課	上吉田三丁目配水管布 設工事(29-1) (小倉南区上吉田三丁目 地内)	鑄鉄管 据付工 φ150	指名	11,156	29.9.28 30.3.7
18	水道部 設計課	則松六丁目他地質調査 業務委託 (八幡西区則松六丁目地 内ほか)	機械ボ ーリン グ工	指名	2,135	29.11.22 30.2.10
19	水道部 浄水課	本城浄水場藤ノ木系送 水ポンプ整備工事 (八幡西区御開五丁目)	ポンプ 整備工 事	指名	43,718	29.10.5 30.8.31
20	水道部 浄水課	油木発電設備更新電気 計装工事 (田川郡添田町大字添田 町大字津野)	電気計 装工事	一般	393,120	27.9.3 30.3.15
21	水道部 浄水課	本城中央監視制御設備 更新電気計装工事 (八幡西区御開五丁目)	電気計 装工事	一般	1,473,552	27.12.3 30.4.30
22	水道部 浄水課	小森江ポンプ場風師系 送水ポンプ更新工事 (門司区羽山二丁目)	ポンプ 更新工 事	一般	53,266	29.2.16 30.3.30
23	水道部 浄水課	油木エレベータ保守点 検業務委託 (田川郡添田町大字津野)	保守点 検	指名	1,400	29.4.1 30.3.31
24	水道部 浄水課	穴生雑草除伐業務委託 (その1) (八幡西区鷹の巣三丁目)	雑草除 伐	指名	2,592	29.7.7 29.10.5

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
25	水道部 浄水課	井手浦浄水場外周雑草 除伐業務委託（その 2） （小倉南区大字井手浦）	雑草除 伐	指名	1,169	29.10.25 30.1.3
26	水道部 浄水課	穴生雑草除伐業務委託 （その2） （八幡西区鷹の巣三丁目 ほか3箇所）	雑草除 伐	指名	1,231	29.12.6 30.3.6
27	東部 工事事務所 水道課	南丘一丁目他配水管布 設替工事 （小倉北区南丘一丁目地 内ほか）	鋳鉄管 据付工 φ150	一般	26,290	29.4.20 29.10.12
28	東部 工事事務所 水道課	丸山系（G14-02-2）他減 圧弁取替工事 （門司区長谷一丁目地内 ほか）	減圧弁 取替 1 式	指名	11,781	29.4.13 30.3.13
29	東部 工事事務所 水道課	大字恒見他配水管布設 替工事 （門司区大字恒見地内ほか）	鋳鉄管 据付工 φ200	一般	44,061	29.7.6 30.3.9
30	東部 工事事務所 水道課	東新町一丁目配水管布 設替工事 （門司区東新町一丁目地内）	鋳鉄管 据付工 φ100	一般	29,399	29.8.31 30.3.13
31	東部 工事事務所 水道課	三萩野二丁目他配水管 布設替設計業務委託 （小倉北区三萩野二丁目 地内ほか）	小口径 布設替 詳細設 計	指名	9,213	29.10.5 30.3.31
32	東部 工事事務所 水道課	大里東二丁目他配水管 布設替工事 （門司区大里東二丁目地 内ほか）	鋳鉄管 据付工 φ150	随契	5,144	29.10.13 30.3.31
33	東部 工事事務所 水道課	佐井川水管橋（φ800×2 条）外面更生工事 （築上郡上毛町大字大ノ 瀬地内）	外面更 生	指名	16,875	29.12.8 30.3.30

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
34	東部 工事事務所 水道課	東港二丁目配水管布設 工事 (小倉北区東港二丁目地内)	鑄鉄管 据付工 φ100	随契	4,212	30.1.31 30.3.30
35	西部 工事事務所 水道課	大池町配水管布設替工 事 (若松区大池町地内)	鑄鉄管 据付工	一般	29,246	29.7.6 30.3.15
36	西部 工事事務所 水道課	黒崎二丁目配水管布設 替工事 (八幡西区黒崎二丁目地内)	鑄鉄管 据付工	随契	4,426	29.7.19 30.1.16
37	西部 工事事務所 水道課	童子丸二丁目他配水管 布設替設計業務委託 (若松区童子丸二丁目地 内ほか)	測量設 計業務	指名	7,490	29.9.14 30.3.30
38	西部 工事事務所 水道課	東大谷二丁目配水管布 設替工事 (戸畑区東大谷二丁目地内)	鑄鉄管 据付工	指名	18,300	29.10.5 30.3.15
39	西部 工事事務所 水道課	小嶺台三丁目他配水管 布設替設計業務委託 (八幡西区小嶺台三丁目 地内ほか)	測量設 計業務	指名	6,210	29.10.19 30.3.31
40	西部 工事事務所 水道課	折尾四丁目配水管簡易 仕切弁設置工事 (八幡西区折尾四丁目地内)	簡易仕 切弁据 付工	指名	2,074	29.10.20 29.11.19
41	西部 工事事務所 水道課	上上津役三丁目小口径 配水管布設替工事 (八幡西区上上津役三丁 目地内)	鑄鉄管 据付工	随契	2,214	29.11.6 30.3.10
42	西部 工事事務所 水道課	八木山隧道導水管外面 更生工事 (宮若市宮田地内)	浸透性 防水材 塗布工	指名	17,772	29.12.14 30.3.15
計				42 件	3,072,128 千円	

別表6 軽微な抽出件数及び契約金額一覧表（上下水道局）

部 名	課 名	対象工事		摘 要
		件数	金額 (千円)	
海外・ 広域事業部	広域事業課	1	119	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路反射鏡設置工事 ・ 倉庫門扉設置工事 ・ 不断水分岐管設置工事 ・ 水道管布設設計業務委託 ・ 仕切弁設置業務委託 ・ フェンス修繕工事 ・ 貯水池安全対策工事 ・ 発電機修繕工事 ・ 減圧弁修繕工事 ・ 弁室改築工事 ・ 舗装補修工事 ・ 配水管布設工事
水道部	計画課	1	2,271	
	設計課	12	12,795	
	浄水課	3	2,922	
	井手浦浄水所	4	3,883	
	穴生浄水所	4	2,943	
	本城浄水所	3	4,294	
	水質試験所	1	724	
東部 工事事務所	水道課	6	8,153	
西部 工事事務所	水道課	4	6,279	
合 計		39	44,383	

北九州市監査公表第4号
平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

なお、この監査は、監査委員 江本 均（平成30年6月30日辞任）、同 井上 勲（平成30年7月1日就任）、同 廣瀬 隆明、同 香月 耕治、同 福島 司により行った。

1 監査の対象

今回の監査は、建築都市局（住宅部及び建築部）において施工する住宅関連（住宅建設及び土木）工事（工事に伴う調査設計、除草、浚渫及びエレベーター・エスカレーターの設備点検等に係る業務委託を含む。以下、同じ。）で、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに完了（予定を含む。）した工事及び前記対象期間中に債務負担行為により継続中の工事を対象とした。

2 監査の方法

監査に必要な資料の提出を求め、表1のとおり工事等を抽出し、それぞれ事務手続き、設計・積算及び施工について、事務が適正に執行されているか等を主眼に、関係書類の審査及び現地実査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

表 1 工事の抽出

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	83	3,261,805	25	1,847,893	別表1 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	80	66,160	18	20,590	別表2 参照

3 監査の期間

平成30年4月19日から平成30年8月8日まで

4 監査の結果

監査の結果、工事の事務手続き、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていた。

別表1 本工事抽出一覧表（建築都市局）

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	住宅部 住宅 整備課	(仮称)横代南団地市営住宅建設工事实施設計業務委託 (小倉南区横代南三丁目)	実施設計	指	10,970	29.06.01 29.12.28
2	住宅部 住宅 整備課	後楽団地214号棟他1棟市営住宅解体工事 (門司区大里東一丁目6番215号ほか)	解体工事	指	25,633	29.11.02 30.03.30
3	住宅部 住宅 整備課	小田山団地7号棟他1棟市営住宅解体工事 (若松区深町一丁目12番)	解体工事	指	7,999	29.10.05 30.01.19
4	住宅部 住宅 整備課	萩原団地2号棟他2棟市営住宅解体工事 (八幡西区萩原二丁目3番)	解体工事	指	42,265	29.11.02 30.03.07
5	住宅部 住宅 整備課	(仮称)楠橋A団地市営住宅建設工事 (八幡西区馬場山東二丁目)	建築工事	一	315,856	28.09.01 29.08.27
6	住宅部 住宅 整備課	北横代団地第2工区市営住宅建設工事 (小倉南区横代北町一丁目)	建築工事	一	309,491	29.03.30 30.04.24
7	住宅部 住宅 整備課	(仮称)野面団地第1工区市営住宅建設工事 (八幡西区野面一丁目7番ほか)	建築工事	一	234,057	29.03.16 30.02.28
8	住宅部 住宅 整備課	本城団地21号棟市営住宅耐震改修工事 (八幡西区本城東一丁目8番21号)	耐震改修工事	一	189,492	28.09.01 29.04.29
9	住宅部 住宅 整備課	城野南団地10号棟市営住宅耐震及び外壁等改修工事实施設計業務委託 (小倉南区城野二丁目1番)	耐震改修工事实施設計	指	2,022	29.10.25 30.03.24

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
10	住宅部 住宅 整備課	福柳木団地1号棟 市営住宅耐震改修工事 (戸畑区観音寺町4番1号)	耐震改修工事	一	135,545	29.08.10 30.02.21
11	住宅部 住宅 整備課	ときわ台団地4号棟 市営住宅耐震改修工事 (小倉北区朝日ヶ丘2番4号)	耐震改修工事	一	188,791	29.07.20 30.03.17
12	住宅部 住宅 整備課	吉田団地15号棟他1棟市営 住宅外壁等改修工事 (小倉南区上吉田三丁目20番 15、16)	外壁改修等工事	一	54,756	29.09.28 30.03.17
13	住宅部 住宅 整備課	深町団地1号棟市営住宅外壁 等改修工事 (若松区深町一丁目10番1 号)	外壁改修等工事	一	98,799	29.09.21 30.03.30
14	住宅部 住宅 整備課	福柳木団地5号棟他1棟市営 住宅外壁等改修工事 (戸畑区観音寺町7番5号)	外壁改修等工事	一	42,982	29.09.14 30.03.17
15	住宅部 住宅 整備課	(仮称)貫団地市営住宅建設工 事基本設計業務委託 (小倉南区上貫二丁目12番)	基本設計	指	5,162	29.10.05 30.03.04
16	住宅部 住宅 整備課	後楽団地第3工区市営住宅建 具工事 (門司区大里東一丁目6番)	屋内付帯工事	指	7,288	29.05.24 29.08.17
17	住宅部 住宅 整備課	西大谷25号棟市営住宅外壁等 改修工事 (戸畑区西大谷二丁目3番2 5号)	外壁改修等工事	指	14,621	29.04.20 29.09.07
18	建築部 電気 設備課	(仮称)楠橋A団地市営住宅電 気工事 (馬場山東二丁目7番)	電気設備その他	一	31,240	28.09.08 29.08.28
19	建築部 電気 設備課	(仮称)楠橋A団地市営住宅昇 降機設置工事 (馬場山東二丁目7番)	昇降機設備	指	8,532	28.09.08 29.08.28

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
20	建築部 電気 設備課	北横代団地第2工区市営住宅 電気工事 (横代北町一丁目8番)	電気設備その他	一	30,510	29.03.30 30.04.24
21	建築部 電気 設備課	北横代団地第2工区市営住宅 昇降機設置工事 (横代北町一丁目8番)	昇降機設備	指	7,776	29.03.30 30.04.24
22	建築部 機械 設備課	(仮称)楠橋A団地市営住宅機 械工事 (八幡西区馬場山東二丁目7 番)	管設備 その他	一	36,704	28.09.01 29.08.27
23	建築部 機械 設備課	(仮称)楠橋A団地市営住宅L Pガス工事 (八幡西区馬場山東二丁目7 番)	L P ガ ス工事	指	6,286	28.09.01 29.08.27
24	建築部 機械 設備課	北横代団地第2工区市営住宅 機械工事 (小倉南区横代北町一丁目8番)	管設備 その他	一	33,632	29.03.30 30.04.24
25	建築部 機械 設備課	北横代団地第2工区市営住宅 都市ガス工事 (小倉南区横代北町一丁目8番)	都市ガ ス工事	随	7,484	29.03.29 30.04.24
計					25件	1,847,893千円

別表2 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（建築都市局）

部 名	課 名	対象工事		摘要
		件数	契約金額 (千円)	
住宅部	空き家活用 推進室	2	4,090	<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路整備 ・増築解体 ・仮住居修繕
	住宅整備課	16	16,500	
計		18	20,590	

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、建設局、上下水道局及び区役所まちづくり整備課において施工する公園、河川及び下水道関係の工事（工事に伴う調査設計、除草、浚渫及びエレベーター・エスカレーターの設備点検等に係わる業務委託を含む。以下、同じ。）で、平成29年6月1日から平成30年5月31日までに完了（予定を含む。）した工事及び前記対象期間中に債務負担行為により継続中の工事を対象とした。

2 監査の方法

監査に必要な資料の提出を求め、表1、表2、表3のとおり工事等を抽出し、それぞれ事務手続、設計・積算及び施工について、事務が適正に執行されているか等を主眼に、関係書類の審査及び現地実査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

表1 工事の抽出（建設局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	104	2,892,508	28	1,607,016	別表1参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	157	140,670	37	55,378	別表2参照

表 2 工事の抽出（上下水道局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備 考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	285	23,873,315	27	9,614,309	別表 3 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	305	342,082	31	52,964	別表 4 参照

表 3 工事の抽出（区役所まちづくり整備課）

工事区分	対象工事		抽出工事		備 考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	232	2,002,896	29	428,138	別表 5 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	2,309	2,421,848	87	129,300	別表 6 参照

3 監査の期間

平成 30 年 7 月 25 日から平成 30 年 11 月 22 日まで

4 監査の結果

監査の結果、工事の事務手続、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていた。

別表1 本工事抽出一覧表（建設局）

番号	部 課 名	工 事 名 称 〈工 事 場 所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工 期
1	公園緑地部 みどり・ 公園整備課	勝山公園天守閣広場整備工 事(28-1) 〈小倉北区城内〉	園路広場整備	一 般	48,301	29. 3. 30 29. 9. 21
2	公園緑地部 みどり・ 公園整備課	勝山公園天守閣広場整備工 事(29-1) 〈小倉北区城内〉	園路広場整備	一 般	80,612	29. 9. 28 30. 3. 15
3	公園緑地部 みどり・ 公園整備課	曾根豊岡緑地敷地造成工事 (28-2) 〈小倉南区大字曾根〉	路床安定処理 舗装工(路盤)	一 般	152,261	29. 3. 30 29. 12. 28
4	公園緑地部 みどり・ 公園整備課	城山緑地法面整備工事(2 9) 〈八幡西区屋敷一丁目〉	連続繊維補強土 工、吹付け砕工	一 般	148,682	29. 7. 6 30. 3. 30
5	公園緑地部 みどり・ 公園整備課	金剛中央公園整備工事(そ の2) 〈八幡西区金剛三丁目〉	園路広場整備	一 般	85,662	29. 3. 23 29. 10. 31
6	公園緑地部 みどり・ 公園整備課	旧安川邸樹木撤去他業務委 託 〈戸畑区一枝一丁目〉	樹木撤去	指 名	25,550	29. 9. 19 30. 3. 30
7	河 川 部 河川整備課	笹尾川護岸工事(29- 1) 〈八幡西区大字笹田〉	護岸工	一 般	47,847	29. 6. 1 29. 12. 18
8	河 川 部 河川整備課	笹尾川橋梁(香月橋)詳細 設計業務委託 〈八幡西区大字笹田〉	橋梁詳細設計	指 名	12,989	29. 10. 5 30. 3. 30
9	河 川 部 河川整備課	金剛川橋梁下部工工事(2 8-2) 〈八幡西区金剛三丁目〉	下部工、護岸工	一 般	117,388	29. 4. 6 30. 3. 30
10	河 川 部 河川整備課	江川護岸工事(28-2) 〈若松区大字払川〉	護岸工	一 般	106,526	28. 9. 23 29. 7. 31

番号	部 課 名	工 事 名 称 〈工 事 場 所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工 期
11	河 川 部 河川整備課	板櫃川河道掘削工事(29-1) 〈小倉北区日明一丁目〉	河道掘削工	一般	173,221	29. 8. 31 30. 3. 15
12	河 川 部 河川整備課	紫川(MM区間)護岸工事 (28-2) 〈小倉北区大手町〉	石積工、排水工	一般	217,095	28. 9. 23 29. 7. 31
13	河 川 部 河川整備課	相割川橋梁上部工工事(29-1) 〈門司区恒見町〉	橋梁上部工	一般	22,561	29. 6. 22 30. 2. 28
14	河 川 部 河川整備課	金手川護岸改修工事(28-1) 〈八幡西区力丸町〉	護岸工	一般	36,743	28. 10. 27 29. 7. 10
15	東 部 整備事務所 工務第二課	朽網川河川整備工事 〈小倉南区朽網東一丁目〉	鋼矢板圧入、コンクリート工	指名	11,885	29. 5. 8 29. 8. 31
16	東 部 整備事務所 工務第二課	白野江植物公園展望デッキ 整備工事 〈門司区大字白野江〉	展望デッキ設置 土留板柵、自然土舗装	指名	14,896	29. 10. 27 30. 3. 16
17	東 部 整備事務所 工務第二課	小山川河川整備工事 〈小倉北区篠崎三丁目〉	根継工、仮設工	指名	4,666	29. 12. 4 30. 3. 15
18	東 部 整備事務所 工務第二課	山田緑地八ツ橋改修工事 〈小倉北区山田町〉	八ツ橋改修	指名	8,963	29. 12. 22 30. 3. 30
19	東 部 整備事務所 工務第二課	母原川護岸工事(29-1) 〈小倉南区大字母原〉	護岸工ほか	一般	32,967	29. 10. 26 30. 3. 31
20	東 部 整備事務所 工務第二課	稗田川河川整備工事(29-1) 〈小倉南区大字石田〉	水路工ほか	指名	20,977	29. 10. 26 30. 4. 27

番号	部 課 名	工 事 名 称 〈工 事 場 所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工 期
21	西 部 整備事務所 工務第二課	香月線道路改築付帯工事 (29-1) 〈八幡西区香月西三丁目〉	鋼矢板圧入工、 被覆コンクリート工	一般	88,532	29. 8. 10 30. 3. 30
22	西 部 整備事務所 工務第二課	河頭公園法面整備工事 〈八幡西区大字鳴水〉	大型ブロック積み工	指名	10,743	29. 9. 8 30. 3. 15
23	西 部 整備事務所 工務第二課	宮川護岸改修工事 〈八幡西区皇后崎町〉	護岸工、舗装工、防護柵工	指名	15,778	29. 9. 15 30. 1. 31
24	西 部 整備事務所 工務第二課	中子川景観整備工事(29-1) 〈八幡西区町上津役東一丁目〉	防草対策工、植栽工ほか	指名	24,285	29. 10. 26 30. 2. 20
25	西 部 整備事務所 工務第二課	的場池公園球場外周整備工事 〈八幡西区的場町〉	擁壁工1式、雨水排水設備工ほか	指名	16,515	29. 11. 17 30. 3. 15
26	西 部 整備事務所 工務第二課	高炉台公園災害復旧工事 (29-2) 〈八幡東区中央三丁目〉	法面工、防護柵工	指名	11,058	29. 12. 1 30. 3. 15
27	西 部 整備事務所 工務第二課	浅生公園公園施設撤去工事 〈戸畑区浅生二丁目〉	公園施設解体・撤去、土舗装剥ぎ取り、仮囲い	指名	32,842	29. 3. 16 29. 8. 31
28	西 部 整備事務所 工務第二課	吉祥寺公園整備工事 〈八幡西区吉祥寺町〉	アスファルト舗装、真砂土舗装ほか	一般	37,471	29. 3. 30 29. 10. 31
計				28 件	1,607,016 千円	

別表2 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（建設局）

部 名	課 名	対 象 工 事		摘 要
		件数	金額（千円）	
公園緑地部	緑 政 課	1	464	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擬木柵設置工事 ・ 駐車場案内板設置工事 ・ 非常用放送設備改良工事 ・ 護岸工事 ・ 防水扉改修工事 ・ 監視カメラ改修工事 ・ ベンチ補修工事 ・ 河川整備工事 ・ 河床改修工事 ・ 擬木階段整備工事 ・ 休憩施設改修工事 ・ 公園遊具整備工事
	みどり・公園整備課	6	9,999	
河 川 部	河川整備課	6	7,193	
	水環境課	2	2,781	
東整備事務所	工務第二課	11	19,479	
西整備事務所	工務第二課	11	15,462	
合 計		37	55,378	

別表3 本工事抽出一覧表（上下水道局）

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	下水道部 下水道整備課	桜町北湊雨水貯留管築造 工事 〈若松区桜町ほか〉	管渠築造工 (シールド)	一般	4,373,632	26. 2. 27 29. 12. 15
2	下水道部 下水道整備課	菅原増補幹線(その1) 管渠更生工事 〈戸畑区沖台二丁目〉	管渠更生工	指名	203,417	29. 3. 30 29. 11. 5
3	下水道部 下水道整備課	本城北幹線(その6) 管 渠更生工事 〈八幡西区御開四丁目〉	管渠更生工	指名	185,172	29. 3. 16 30. 3. 30
4	下水道部 下水道整備課	陣山二丁目地内他管渠更 生実施設計業務委託 〈八幡西区陣山二丁目ほか〉	管渠更生実施 設計	指名	7,020	29. 9. 7 30. 2. 28
5	下水道部 下水道整備課	天籟寺初音町幹線管渠布 設実施設計業務委託 〈戸畑区夜宮二丁目ほか〉	詳細設計(シ ールド工法、 中大口径推進 工法)	指名	60,272	29. 3. 23 30. 3. 30
6	下水道部 下水道整備課	北九州市公共下水道東中島 ポンプ場雨水滞水池の建設 工事(土木・建築)委託 〈八幡西区御開二丁目〉	雨水滞水池	随契	739,670	28. 1. 13 30. 3. 31
7	下水道部 下水道整備課	田畑川雨水幹線管渠築造 工事 〈大里戸ノ上二丁目ほか〉	φ2000mmほか	一般	1,317,403	27. 1. 29 30. 3. 31
8	下水道部 下水道整備課	牧山川雨水幹線(その5) 管渠築造工事 〈八幡東区枝光四丁目ほか〉	推進工φ2,200 ほか	一般	767,400	28. 10. 13 30. 11. 27
9	下水道部 下水道整備課	本川雨水幹線管渠更生工 事 〈門司区清見一丁目〉	管渠更生工	指名	281,165	28. 12. 22 29. 10. 31
10	下水道部 施設課	皇后崎浄化センター中央 監視電気計装設備改築工 事 〈八幡西区夕原町〉	LCD、DBC、 操作卓、コントロ ーラ、計装変換器 盤の更新ほか	一般	1,080,146	27. 11. 19 29. 9. 30

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
11	下水道部 施設課	日明浄化センター6系最終沈殿池機械設備改良工事 〈小倉北区西港町〉	流入ゲート、上段汚泥かき寄せ機、下段汚泥かき寄せ機等の据付ほか	一般	211,175	29. 3. 23 30. 3. 30
12	下水道部 施設課	曾根浄化センター2系曝気沈砂池機械設備改良工事 〈小倉南区中吉田二丁目〉	6系1～3終沈汚泥掻寄機機械更新、汚水ポンプ更新、汚泥移送ポンプ更新ほか	指名	75,060	29. 3. 16 30. 3. 15
13	下水道部 施設課	藤田ポンプ場3号汚水ポンプ機械設備改良工事 〈八幡西区大字藤田〉	汚水ポンプ更新電動機更新、逆止弁更新、吐出弁更新、据付・配管工事ほか	指名	64,087	29. 7. 6 30. 3. 15
14	下水道部 施設課	日明浄化センター6系最終沈殿池他電気計装設備改良工事 〈小倉北区西港町〉	6系1～3終沈汚泥掻寄機機械更新、汚水ポンプ更新、汚泥移送ポンプ更新ほか	指名	91,476	29. 9. 28 30. 3. 30
15	下水道部 東部 浄化センター	日明浄化センター非常用発電装置電気計装設備定期修繕工事 〈小倉北区西港町〉	日明浄化センター非常用発電装置の定期修繕	指名	19,440	29. 7. 6 30. 3. 15
16	下水道部 東部 浄化センター	日明浄化センター4号汚泥脱水機定期修繕工事 〈小倉北区西港町〉	4号汚泥脱水機の定期修繕	随契	39,706	29. 8. 2 30. 3. 30
17	下水道部 東部 浄化センター	日明浄化センター重力濃縮槽No.1汚泥掻寄機修繕工事 〈小倉北区西港町〉	日明浄化センター重力濃縮槽No.1汚泥掻寄機の修繕	指名	11,124	29. 10. 26 30. 3. 30
18	下水道部 西部 浄化センター	皇后崎浄化センター脱水機棟ポンプインバータ盤電気計装設備修繕工事 〈八幡西区夕原町〉	皇后崎浄化センター脱水機棟のポンプインバータ盤の修繕	指名	17,064	29. 7. 27 30. 1. 31
19	下水道部 西部 浄化センター	本城ポンプ場No.1雨水ポンプ修繕工事 〈八幡西区洞北町〉	潤滑水漏水対策を目的として、保護管等の取替	指名	22,862	29. 7. 12 29. 12. 28
20	東部 工事事務所 下水道課	石原町地内管渠築造工事 〈小倉南区大字石原町〉	管渠工(開削)ほか	指名	8,095	29. 4. 13 29. 7. 22

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
21	東 部 工事事務所 下水道課	守恒本町二丁目地内管渠 築造工事 〈小倉南区守恒本町二丁目〉	取付管推進工	指名	6,982	29. 9. 14 30. 2. 15
22	東 部 工事事務所 下水道課	丸山吉野町地内雨水管渠 布設内容変更設計業務委 託 〈門司区丸山吉野町〉	推進工法 (刃口 ・小口径)	指名	4,428	30. 2. 8 30. 3. 10
23	東 部 工事事務所 下水道課	中貫二丁目地内家屋事後 調査業務委託 〈小倉南区中貫二丁目〉	木造1棟 外講1 棟	指名	1,588	30. 2. 19 30. 3. 31
24	西 部 工事事務所 下水道課	岩崎四丁目地内管渠築造 工事 〈八幡西区岩崎四丁目〉	管布設工	指名	11,775	29. 3. 16 29. 8. 31
25	西 部 工事事務所 下水道課	高見二丁目地内雨水管渠 築造実施設計業務委託 〈八幡東区高見二丁目〉	管渠築造工事实 施設計	指名	4,736	29. 12. 7 30. 3. 30
26	西 部 工事事務所 下水道課	元宮町地内污水管渠築造 工事 〈戸畑区元宮町〉	管布設工	指名	4,789	29. 8. 31 30. 1. 25
27	西 部 工事事務所 下水道課	上上津役六丁目地内管渠 築造工事 〈八幡西区上上津役六丁 目〉	管布設工	指名	4,625	29. 12. 7 30. 5. 16
計				27 件	9,614,309 千円	

別表 4 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（上下水道局）

部 名	課 名	対 象 工 事		摘 要
		件数	金額（千円）	
下 水 道 部	下 水 道 整 備 課	3	4,156	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔監視設備設置改良工事 ・雨水管渠布設内容変更設計業務委託 ・雨水流入ゲート油圧シリンダ修繕 ・ポンプ場非常用電気装置修繕 ・圧送管空気注入設備修繕 ・管理棟空調機新設工事 ・取付管整備工事
	東 部 浄 化 セ ン タ ー	8	14,645	
	西 部 浄 化 セ ン タ ー	7	10,854	
東 工 事 事 務 部	下 水 道 課	8	15,219	
西 工 事 事 務 部	下 水 道 課	5	8,090	
合 計		31	52,964	

別表5 本工事抽出一覧表（区役所まちづくり整備課）

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	門司区役所 まちづくり 整備課	大里桃山町地内管渠更生 工事 〈門司区大里桃山町〉	本管更生工ほ か	指名	19,118	29. 9. 21 30. 1. 19
2	門司区役所 まちづくり 整備課	大字畑ほか水路整備工事 〈門司区大字畑ほか〉	U型側溝ほか	指名	11,995	29. 9. 15 30. 3. 6
3	門司区役所 まちづくり 整備課	街路除草及び中下木剪定 業務委託（門司区） 〈門司区一円〉	除草（抜取）	指名	23,744	29. 5. 11 29. 11. 21
4	門司区役所 まちづくり 整備課	内堀川公園整備工事 〈門司区東本町二丁目〉	照明灯、引込 柱、ベンチほ か	指名	8,064	29. 12. 4 30. 3. 30
5	門司区役所 まちづくり 整備課	畑田公園整備工事 〈門司区畑田町〉	アスファルト 舗装、コンク リート舗装	指名	3,664	29. 11. 27 30. 3. 30
6	小倉北区役所 まちづくり 整備課	下到津公園整備工事 〈小倉北区下到津五丁目〉	広場整備 遊具設置	指名	12,935	29. 10. 27 30. 2. 28
7	小倉北区役所 まちづくり 整備課	井堀一丁目地内（その2） 管渠更生工事 〈小倉北区井堀一丁目〉	本管更生 取付管更生	指名	17,703	29. 11. 17 30. 5. 11
8	小倉南区役所 まちづくり 整備課	星和台一丁目地内（西部 ・環境）下水道維持修繕 工事 〈小倉南区星和台一丁目〉	人孔蓋取替	指名	2,847	29. 4. 26 29. 6. 30
9	小倉南区役所 まちづくり 整備課	山手三丁目地内（その2） 管渠更生工事 〈小倉南区山手三丁目〉	本管更生工	指名	17,542	29. 6. 29 29. 10. 2
10	小倉南区役所 まちづくり 整備課	企救丘一・二丁目地内（ その2）管渠更生工事 〈小倉南区企救丘一・二丁目〉	本管更生工	指名	15,430	29. 12. 21 30. 4. 20

番号	部課名	工 事 名 称 〈工 事 場 所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工 期
11	小倉南区役所 まちづくり 整備課	竹馬川（左岸）他2河川 美化業務委託 〈小倉南区湯川新町三丁目ほか〉	河川除草	指名	3,114	29. 6. 30 29. 9. 29
12	小倉南区役所 まちづくり 整備課	街路除草及び中下木剪定 業務委託（小倉南2） 〈小倉南区一円〉	街路除草剪定	指名	29,123	29. 5. 15 29. 12. 11
13	小倉南区役所 まちづくり 整備課	長野緑地草そり場改修工 事 〈小倉南区大字長野〉	人工芝設置	指名	18,749	29. 6. 9 29. 8. 31
14	若松区役所 まちづくり 整備課	南二島四丁目第2低地ポン プ場他人孔蓋取替工事 〈若松区南二島四丁目ほか〉	人孔蓋取替工	指名	9,583	29. 3. 16 29. 8. 23
15	若松区役所 まちづくり 整備課	高須北二丁目地内管渠更 生工事 〈若松区高須北二丁目〉	管渠更生工事	指名	16,435	29. 7. 27 29. 11. 24
16	若松区役所 まちづくり 整備課	街路除草及び中下木剪定 業務委託（若松区西部） 〈若松区西部一円〉	除草等	指名	21,762	29. 5. 31 29. 11. 30
17	若松区役所 まちづくり 整備課	深町二丁目公園整備工事 〈若松区深町二丁目〉	公園整備	一 般	33,760	29. 11. 22 30. 5. 31
18	八幡東区役所 まちづくり 整備課	上本町二丁目地内他管渠 更生工事 〈八幡東区上本町二丁目ほか〉	管更生 取付管更生	指名	17,777	29. 9. 21 30. 1. 19
19	八幡東区役所 まちづくり 整備課	奥田川他河川除草業務委 託 〈八幡東区河内二丁目ほか〉	除草人力・機 械	指名	2,794	29. 7. 4 29. 8. 31
20	八幡東区役所 まちづくり 整備課	街路樹冬期剪定業務委託 （八幡東区） 〈八幡東区一円〉	落葉樹剪定	指名	9,131	29. 9. 19 30. 3. 15

番号	部課名	工事名称 〈工事場所〉	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
21	八幡東区役所 まちづくり 整備課	羽衣町中公園整備工事 〈八幡東区羽衣町〉	遊具設置 真砂土舗装	指名	13,551	29. 12. 8 30. 3. 20
22	八幡東区役所 まちづくり 整備課	高見中央公園整備工事 〈八幡東区高見二丁目〉	遊具設置 真砂土舗装	指名	12,397	29. 12. 15 30. 3. 15
23	八幡西区役所 まちづくり 整備課	沖田二丁目地内（その 3）管渠更生工事 〈八幡西区沖田二丁目〉	管渠更生工 部分更生工	指名	17,733	29. 10. 5 30. 2. 2
24	八幡西区役所 まちづくり 整備課	新々堀川他除草業務 委託（その1） 〈八幡西区本城東一丁目ほか〉	除草	随契	6,122	29. 5. 24 29. 12. 15
25	八幡西区役所 まちづくり 整備課	皇后崎公園北側多目的広 場整備工事 〈八幡西区青山二丁目〉	基盤整備工 敷地造成工	指名	19,926	29. 6. 30 29. 10. 17
26	八幡西区役所 まちづくり 整備課	皇后崎公園北側西駐車場 整備工事 〈八幡西区青山二丁目〉	駐車場整備	指名	19,902	29. 11. 6 30. 2. 27
27	戸畑区役所 まちづくり 整備課	夜宮公園（梅林）整備工 事（その2） 〈戸畑区夜宮一丁目〉	石積工 高木植栽 張芝	指名	18,336	29. 9. 15 30. 1. 22
28	戸畑区役所 まちづくり 整備課	夜宮公園ハナショウブ管 理業務委託 〈戸畑区夜宮一丁目ほか〉	病株掘取り 移植、植替	指名	11,373	29. 4. 21 30. 3. 31
29	戸畑区役所 まちづくり 整備課	牧山新町地内（その2） 管渠更生工事 〈戸畑区牧山新町〉	本管更生工	指名	13,528	29. 7. 13 29. 11. 10
計				29 件	428,138 千円	

別表6 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（区役所）

部 名	課 名	対 象 工 事		摘 要
		件数	金額（千円）	
門 司 区 役 所	まちづくり整備課	15	21,958	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道維持修繕工事 ・ 下水道清掃浚渫業務委託 ・ 人孔蓋取替工事 ・ 橋梁補修工事 ・ 河川維持修繕工事 ・ 河川美化業務委託 ・ 井堰修繕工事 ・ 樹木撤去業務委託 ・ 防草シート設置工事 ・ 法面保護工事 ・ 公園整備工事 ・ 公園遊具設置工事 ・ ユニットトイレ設置電気工事 ・ 霊園整備工事
小倉北区役所	まちづくり整備課	10	13,214	
小倉南区役所	まちづくり整備課	18	25,682	
若松区役所	まちづくり整備課	12	16,925	
八幡東区役所	まちづくり整備課	11	16,370	
八幡西区役所	まちづくり整備課	15	26,673	
戸畑区役所	まちづくり整備課	6	8,478	
合 計		87	129,300	

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、環境局および教育委員会において施工する工事（工事に伴う調査設計、除草、浚渫及びエレベーター・エスカレーターの設備点検等に係る業務委託を含む。以下、同じ。）で、平成28年6月1日から平成30年5月31日までに完了（予定を含む。）した工事及び前記対象期間中に債務負担行為により継続中の工事を対象とした。

2 監査の方法

監査に必要な資料の提出を求め、表1及び表2のとおり工事等を抽出し、それぞれ事務手続き、設計・積算及び施工について、事務が適正に執行されているか等を主眼に、関係書類の審査及び現地実査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

表1 工事の抽出（環境局）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	63	6,285,486	14	5,118,890	別表1 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	659	513,378	61	86,658	別表2 参照

表2 工事の抽出（教育委員会）

工事区分	対象工事		抽出工事		備考
	件数	契約金額 (千円)	件数	契約金額 (千円)	
本工事 (委託業務を含む)	31	53,173	7	11,586	別表3 参照
軽微な工事 (委託業務を含む)	4,449	2,772,338	199	271,397	別表4 参照

3 監査の期間

平成30年7月25日から平成30年12月13日まで

4 監査の結果

(1) 環境局

監査の結果、工事の事務手続き、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていた。

(2) 教育委員会

監査の結果、工事の事務手続き、設計・積算及び施工は、おおむね適正に行われていたが、一部に次のような事項が認められた。これについては、適切な措置を講じられたい。

ア アスベストの処理について

(施設課)

[軽微な工事] 曾根小学校他1校管理棟手摺設置他工事（身障・自情）

本工事は、校舎の階段に手摺を設置し、教室のビニル床タイルをフローリングに貼り替えるものである。

ビニル床タイルやスレート波板などの成形板は、施工した年代により、アスベスト含有の建築材料の可能性があるため、設計図書や分析調査によりアスベストが含まれていないことを確認して取り外すか、アスベストが含まれているものとみなして、飛散防止などの措置を講じて取り外す必要がある。

しかし、受注者は、ビニル床タイルにアスベストが含まれていないことを確認せずに、飛散防止などの措置が不完全なまま、取り外し作業を行っていた。

建築物の改修等に伴う除去作業で、アスベストが使用されている可能性が

ある建築材料を取り外す場合は、労働安全衛生法等の規定を遵守させるよう確認や指示を行い、アスベストの処理を適切にされたい。

なお、施設の所管部署等は、今回のアスベスト除去工事以外に多種多様な軽微な工事を発注するが、業者任せとならないように必要に応じて技術部署等と連携し、工事内容に関する関係法令等について、事前に把握のうえ工事発注に努められたい。

別表1 本工事抽出一覧表（環境局）

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	環境 監視部 環境 監視課	平成28年度響灘ビオトープ 2番池除草等業務委託 (若松区響町二丁目)	ビオト ープ内 の除草 等	指	2,808	29.02.24 29.03.24
2	循環社 会推進 部 施設課	焼却炉設備改良工事 (八幡西区夕原町2番1号)	焼却炉 設備の 期間改 修	一	4,515,000	26.01.14 29.03.31
3	循環社 会推進 部 施設課	電気計装機器更新工事その4 (八幡西区夕原町2番1号)	発信 器、調 節計の 更新	指	20,742	27.12.10 28.08.31
4	循環社 会推進 部 施設課	日明積出基地積出施設撤去工 事 (小倉北区西港町)	施設解 体・撤 去	一	123,013	29.02.16 29.10.31
5	循環社 会推進 部 施設課	本城かんびん資源化センター アルミ選別機磁極回転子修繕 工事 (八幡西区洞北町7番10号)	機械器 具設置	指	4,094	29.12.28 30.03.28
6	循環社 会推進 部 施設課	新門司工場エレベーター保守 点検委託 (門司区新門司三丁目79番 地)	エレベ ーター 保守点 検	随	1,387	29.03.29 30.03.31
7	新門司 環境セ ンター 新門司 工場	新門司工場熔融炉他修繕工事 (門司区新門司三丁目79番地)	熔融炉 等の修 繕工事	随	144,562	29.09.13 30.03.30
8	新門司 環境セ ンター 新門司 工場	新門司工場電気室無停電電源 装置蓄電池取替工事 (門司区新門司三丁目79番地)	蓄電池 更新	指	7,560	29.12.28 30.03.31
9	新門司 環境セ ンター 新門司 工場	新門司工場ごみクレーンバケ ット取替工事 (門司区新門司三丁目79番地)	クレー ンバケ ットの 更新	指	19,872	29.11.09 30.03.31

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
10	日明環境センター 日明工場	焼却炉整備工事 (小倉北区西港町96番地2)	焼却炉の整備	随	116,918	28.09.07 29.03.15
11	日明環境センター 日明工場	2号ごみクレーンインバータ更新工事 (小倉北区西港町96番地2)	クレーンインバータの更新	指	15,336	29.07.27 30.01.28
12	日明環境センター 日明工場	日明工場1号プラント動力変圧器二次主幹盤他更新電気計装設備工事 (小倉北区西港町96番地2)	盤の更新	随	53,460	29.10.25 30.03.15
13	皇后崎環境センター 皇后崎工場	平成28年度皇后崎工場焼却炉本体定期修繕工事 (八幡西区夕原町2番1号)	火格子更新、水管一部取替	随	74,520	28.07.27 29.03.24
14	皇后崎環境センター 皇后崎工場	皇后崎工場ごみクレーンバケット他定期修繕工事 (八幡西区夕原町2番1号)	各クレーンバケット整備	随	19,618	29.11.29 30.03.31
計					14件	5,118,890千円

別表2 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（環境局）

部 名	課 名	抽出工事		摘 要
		件数	契約金額 (千円)	
総務政策部	環境学習課	2	2,071	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水機 ・ウッドデッキ ・太陽光発電設備 ・ブラインド ・トイレ ・排水ポンプ ・天井 ・事務室改修 ・シャッター ・草刈 ・減速帯設置 ・電気設備 ・自動扉 他
環境国際経済部	温暖化対策課	2	3,728	
	環境産業推進課	2	3,338	
環境監視部	産業廃棄物対策課	1	1,414	
循環社会推進部	業務課	3	669	
	施設課	14	24,472	
新門司環境センター	新門司環境センター	1	637	
	新門司工場	6	9,691	
日明環境センター	日明環境センター	1	544	
	日明工場	17	22,106	
皇后崎環境センター	皇后崎環境センター	2	712	
	皇后崎工場	10	17,276	
計		61	86,658	

別表3 本工事抽出一覧表（教育委員会）

番号	部課名	工事名称 (工事場所)	工事概要	契約内容		
				方法	契約金額 (千円)	工期
1	学校 支援部 施設課	赤坂小学校他7校 草刈業務委託 (八幡西区本城東五丁目6番1号ほか)	学校用地の除草	指	2,052	29.04.24 29.11.30
2	学校 支援部 施設課	楠橋小学校他6校 草刈業務委託 (八幡西区楠橋上方一丁目3番1号ほか)	学校用地の除草	指	1,566	29.04.24 29.11.30
3	学校 支援部 施設課	小石小学校他5校 草刈業務委託 (若松区宮前町3番1号ほか)	学校用地の除草	指	961	29.04.24 29.11.30
4	学校 支援部 施設課	江川小学校他3校 草刈業務委託 (若松区大字乙丸5番地ほか)	学校用地の除草	指	1,134	29.04.24 29.11.30
5	学校 支援部 施設課	小森江東小学校他7校 草刈業務委託 (門司区二夕松町2番1号ほか)	学校用地の除草	指	1,790	29.04.24 29.11.30
6	学校 支援部 施設課	尾倉中学校他4校エレベーター保守点検業務委託 (八幡東区尾倉三丁目10番1号ほか)	エレベーター保守点検	随	2,985	29.04.01 30.03.31
7	学校 支援部 施設課	ひびきの小学校エレベーター保守点検業務委託 (若松区大字塩屋739番地3)	エレベーター保守点検	随	1,098	29.07.01 30.03.31
計					7件	11,586千円

別表4 軽微な工事の抽出件数及び契約金額一覧表（教育委員会）

部 名	課 名	抽出工事		摘 要
		件数	契約金額 (千円)	
総務部	総務課	2	2,218	<ul style="list-style-type: none"> ・電気配線 ・空調設備 ・建具 ・照明設備 ・床 ・給湯器 ・屋根防水 ・防球ネット ・石積 ・法面保護 ・草刈 ・倉庫 ・外壁 ・舗装 他
学校支援部	学事課 (学校発注分)	17	3,176	
	施設課	149	250,305	
	施設課 (学校発注分)	13	2,422	
指導部	教育センター	3	4,069	
中央図書館	庶務課	7	7,462	
北九州市立高等学校		5	773	
高等理容美容学校		3	972	
計		199	271,397	

北九州市監査公表第7号

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井 上	勲
同	廣 瀬	隆 明
同	香 月	耕 治
同	福 島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、市民文化スポーツ局及び保健福祉局の平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）の収入、支出、契約、財産管理等の財務事務及びその他の事務の執行を対象とした。

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成30年7月11日から平成31年2月7日まで

4 監査の結果

(1) 市民文化スポーツ局

監査の結果、事務はおおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア その他事務

(ア) 公の施設の指定管理業務について

(スポーツ振興課)

指定管理者に管理させている公の施設の管理運営について、①所管課が借り受けている施設に付帯する備品の取り扱いについて貸主との間で取り決めをしていなかったため、指定管理者に管理させる備品の内容が不明確となっていた。②施設の維持管理に係るモニタリングについて、市が実施すべきであるにもかかわらず、指定管理者の報告書をもってこれに代えており、所管課として実施していなかった。

市指定管理者制度ガイドラインでは、基本協定の中で指定管理者が管理すべき物件を明確にすることとされており、備品の管理・使用については、予め備品等の在庫や管理状況を確認し、資料の形に整理しておく必要があるとされている。また、業務実施状況の確認について、市は、モニタリング実施項目等に基づき、書類の提出を求め、又は実地に調査することができるとされている。

所管課として適正な事務処理をされたい。

(イ) 市が事務局となっている団体の事務について

(安全・安心推進課)

安全・安心推進課が事務局となっている小倉繁華街PR大作戦実行委員会が行った小倉繁華街PR大作戦業務委託について、指名型プロポーザル方式で随意契約を行っているが、①企画提案を募集した際、応募者が積算するのに必要な情報が示されていない仕様書で提案をさせ、契約していた。また、②大幅な増額変更を理由が不明確なまま行っていた。

市が事務局となっている団体の事務については、団体の規約や経理規程のほか、市の契約規則等に準じた適正な事務処理が求められる。

市委託業務要綱では、委託に当たっては委託業務の範囲を明らかにするとともに、その仕様を定めなければならないとされている。また、市業務委託契約事務の手引きでは、仕様書は入札参加者が積算する

のに十分な情報が示されていないとされている。さらに、同手引きでは、客観的にみて原契約と一体的に扱う必要があり、かつ、軽微な事項と判断できる場合のみ契約変更は可能であるとされている。

適正な事務処理をされたい。

(2) 保健福祉局

監査の結果、事務はおおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア 契約事務

(ア) 物品購入手続きについて

(第2夜間・休日急患センター)

夜間・休日急患センター及び第2夜間・休日急患センターで使用するインフルエンザ検査キットの購入に係る平成29年度の単価契約（購入総額11,372,400円）について、①専決権者である保健福祉局長の決裁ではなく、第2夜間・休日急患センター所長の決裁としていた。また、②競争入札とすべきところを随意契約としていた。さらに、③見積書を徴する者に対して総予定数量を提示していなかった。

市副市長以下専決規程では、夜間・休日急患センター及び第2夜間・休日急患センターにおける1件200万円を超える薬品の購入の契約及び検収の専決権者は保健福祉局長とされている。また、市契約規則では、予定価格が160万円を超える財産の買入れの契約は競争入札の方法によるとされている。さらに、物品購入契約事務の手引きによると、単価契約は一定期間内に複数回発注を行う同一の物品調達について総予定数量を基にその単価で契約する方法とされており、単価契約を結ぶには、総予定数量を示したうえで、単価による見積書を徴しなければならない。

適正な事務処理をされたい。

イ 財産管理

(ア) 公有財産管理について

(障害福祉企画課)

北九州市障害者スポーツセンターに係る公有財産管理について、施

設内に北九州市障害者スポーツ協会が事務局を設置しているにもかかわらず、目的外使用許可の手続きが取られていなかった。

地方自治法では、行政財産は、その用途又は目的を妨げない限度においてその使用を許可することができることされている。

また、市公有財産管理規則では、各局長は、行政財産をその用途又は目的を妨げない限度において使用させる場合の使用許可の申請があったときは、国、他の地方公共団体その他公共団体又は公共的団体において公用若しくは公共用又は公益事業の用に供するとき等に該当する場合に限り許可することができることされている。

適正な事務処理をされたい。

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上 勲
同	廣瀬 隆明
同	香月 耕治
同	福島 司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

(1) 財政援助団体

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が財政援助をしている市民文化スポーツ局及び保健福祉局所管団体のうち、次の3団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）に交付した補助金等に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

（平成30年6月30日現在、単位：千円）

補助金等交付団体 名称	補助金等名称	29年度 交付額	30年度 交付額	所管課
北九州マラソン実行委員会	北九州マラソン負担金	102,000	87,183	市民文化 スポーツ局 スポーツ振 興課
公益財団法人 北九州産業学術推 進機構	国家戦略特区介 護ロボット開発 事業補助金	9,672	29,347	保健福祉局 先進的介護 システム推 進室
北九州市障害者ス ポーツ協会	北九州市障害者 スポーツ協会事 業補助金	19,654	19,651	保健福祉局 障害福祉企 画課

※30年度交付額は、平成30年6月30日現在の交付済額。

(2) 公の施設の指定管理者

今回の監査は、市が公の施設の管理を行わせている市民文化スポーツ局及び保健福祉局所管の指定管理者のうち、次の8団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）の公の施設の管理に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

指定管理者名	施設名	指定期間	所管課
株式会社 ウインドシップ 北九州	北九州スタジアム	平成29年2月1日～ 平成44年3月31日	市民文化 スポーツ局 スポーツ振 興課
株式会社 椋組	旧百三十銀行ギャラ リー	平成26年4月1日～ 平成31年3月31日	市民文化 スポーツ局 文化企画課
株式会社 スピナ	桃園球場、桃園市民 プール、桃園庭球 場、桃園運動場、桃 園弓道場、大谷球場	平成27年4月1日～ 平成32年3月31日	市民文化 スポーツ局 スポーツ振 興課
戸畑スポーツコ ミュニティ共同 事業体	浅生スポーツセンタ ー	平成28年9月1日～ 平成32年3月31日	市民文化 スポーツ局 スポーツ振 興課
社会福祉法人 北九州市社会福 祉協議会	福祉会館、戸畑市民 会館	平成26年4月1日～ 平成31年3月31日	保健福祉局 地域福祉推 進課
社会福祉法人 春秋会	ふれあいむら社ノ木 デイサービスセンタ ー	平成26年4月1日～ 平成31年3月31日	保健福祉局 介護保険課
社会福祉法人 北九州市手をつ なぐ育成会	浅野工芸舎	平成28年4月1日～ 平成33年3月31日	保健福祉局 障害者支援 課

公益財団法人 北九州市身体障 害者福祉協会	西部障害者福祉会館	平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	保健福祉局 障害福祉企 画課
-----------------------------	-----------	--------------------------------------	----------------------

2 監査の方法

(1) 財政援助団体

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成 30 年 7 月 11 日から平成 31 年 2 月 7 日まで

4 監査の結果

(1) 財政援助団体

監査に当たっては、補助金等がその目的に沿って適正に執行されているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に当たっては、条例及び協定に沿って適正な管理が行われているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井 上	勲
同	廣 瀬	隆 明
同	香 月	耕 治
同	福 島	司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が資本金、基本金等の4分の1以上を出資している団体のうち、次の団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）の当該団体における出納その他の事務の執行を対象とした。

（1）社会福祉法人北九州市福祉事業団

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成30年7月11日から平成31年2月7日まで

4 事業の概要及び監査の結果

(1) 社会福祉法人北九州市福祉事業団

ア 事業の概要

(ア) 目的

社会福祉法人北九州市福祉事業団（以下「事業団」という。）は、市と一体となって社会福祉事業の推進を図り、公設民営の特色と長所を十分に生かしながら、広く市民福祉の向上と増進に寄与することを目的として、昭和40年11月30日に設立登記された法人である。

(イ) 現況

事業団は、前記の事業目的を達成するため、事業団立の施設として障害児入所施設1所、障害者支援施設1所および保育所15所を運営するほか、指定管理者として57施設の運営を行い、市の普通財産であるレインボープラザの管理運営を受託している（平成30年4月1日現在）。

経営の健全化については、「中期計画2020」（平成28年度～平成32年度）に基づき、「経営基盤の安定化の推進」及び「地域福祉の向上に貢献」の2つの方向性のもと、サービス、人材、財務の3つの視点で、多様化する福祉ニーズに対応し、重点事項に取り組み、地域社会から信頼される事業運営を進めている。特に、制度改革や法改正等の変化する経営環境に対応できるよう、ガバナンスの強化に努め、会計監査人制度の導入など経営の透明性の拡充を図っている。

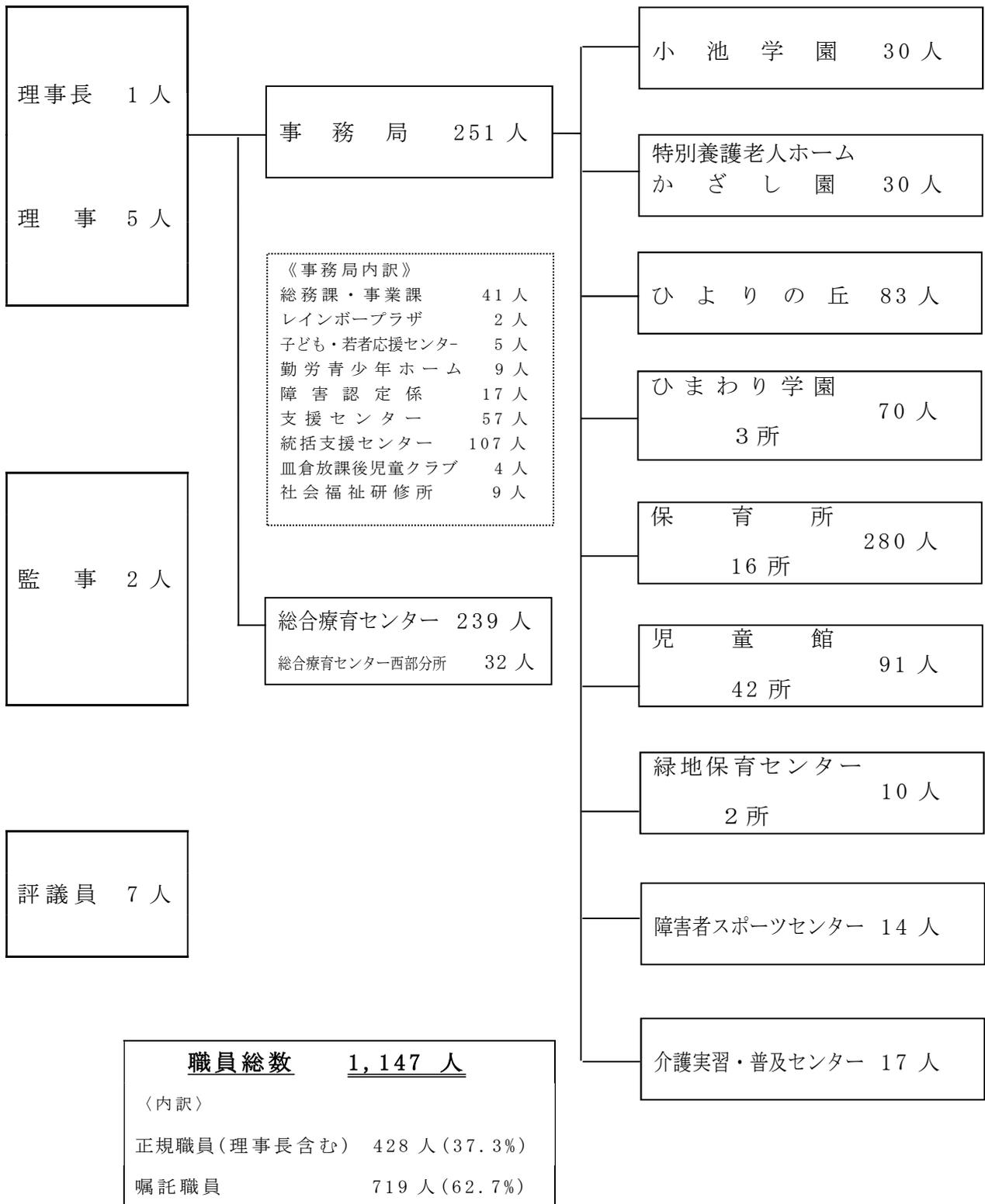
施設利用状況は表1のとおりである。また、平成29年度の事業活動計算書及び貸借対照表は、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織等

事業団の組織及び職員数は、次のとおりである。

（平成30年6月30日現在）

図1 組織及び職員数



(エ) 市との関係

市は、事業団の基本金1,000万円を全額出資するとともに、従来方式の委託と指定管理者制度により社会福祉施設の運営及び管理を委ね、平成29年度は26億5,596万円、平成30年度は6月までに6億6,825万円の委託料を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務の執行は、おおむね適正に処理されていた。

事業団の平成29年度の収支状況を見ると、当期活動増減差額は1億4,064万円の黒字であったものの、前年度と比較すると1億8,097万円減少している。この減少の主な理由は、保育所入所率の低下に伴って保育事業収益が6,143万円、障害者スポーツセンターの受託事業収益（公費）の減少等に伴って公益・収益事業収益が3,332万円、それぞれ減少したこと、また、施設の修繕等に伴って事務費が6,754万円増加したことによる。

事業団の今後を考えると、人材の確保、育成や施設整備のための財源確保が課題となる。社会福祉法人として、質の高いサービスを提供し、事業の継続性を高めるためには、職員の質の向上、専門性や技術の維持継続が極めて重要であり、計画的な正規職員の採用を行うとともに、事業中核を担う人材不足の解消や事業団経営を担う幹部職員の育成が必要となっている。また、老朽化した事業団立施設について、建て替えや大規模改修等を実施してきたが、今後も将来の利用者数や必要な財源の確保等を総合的に判断しながら計画的に施設整備を進める必要がある。

「中期計画2020」の実行を通じて、サービスの質の向上、人材の確保、育成及び収入、収支バランスの確保等に努め、更なる経営基盤の安定化の推進を図り、もって地域福祉の向上に貢献されることを期待する。

表1 施設利用状況

(単位:人)

施設名		定員	29年度		30年度 (4月～6月)	
			利用人員	利用率	利用人員	利用率
障害児入所施設	小池学園	29年度 60 30年度 40	450	62.5%	98	81.7%
			38		33	
	総合療育センター (足立園)	80	877	91.4%	226	94.2%
			73		75	
児童発達支援センター	総合療育センター (にこにこ通園)	50	9,061	72.2%	2,135	67.8%
			36		34	
	総合療育センター西部分所 (きらきら通園)	40	6,831	67.5%	1,228	49.5%
			27		20	
	引野ひまわり学園	50	12,414	100.1%	3,229	104.2%
			50		52	
若松ひまわり学園	30	7,761	103.9%	1,984	106.7%	
		31		32		
到津ひまわり学園	50	13,147	106.0%	3,351	108.1%	
		53		54		
生活介護事業所	総合療育センター (ナイスデイ)	15	2,041	55.8%	510	54.8%
			8		8	
特別養護老人ホーム	かざし園	55	19,426	96.8%	4,821	96.3%
			53		53	
障害者支援施設	ひよりの丘(入所支援)	50	16,924	92.7%	4,346	95.5%
			46		48	
	ひよりの丘(生活介護)	110	26,632	90.0%	6,883	93.4%
			99		103	
共同生活援助事業所	こいけホーム	29年度 57 30年度 60	18,681	89.8%	4,771	87.4%
			51		52	
保育所		1,860	21,187	94.9%	5,020	90.0%
			1,766		1,673	
児童館		—	630,127	—	178,270	—
			52,511		59,423	
皿倉放課後児童クラブ		—	35,136	—	9,188	—
			2,928		3,063	
緑地保育センター		—	23,232	—	3,946	—
			1,936		1,315	
障害者スポーツセンター		—	228,549	—	42,704	—
			19,046		14,235	
社会福祉研修所		—	5,302	—	1,070	—
			442		357	
介護実習・普及センター		—	20,640	—	5,260	—
			1,720		1,753	
子ども・若者応援センター		—	2,897	—	661	—
			241		220	
勤労青少年ホーム		—	93,111	—	21,319	—
			7,759		7,106	
高齢者生きがいづくり支援事業		—	1,735	—	390	—
			145		130	
レインボープラザ		—	73,879	—	17,628	—
			6,157		5,876	

(注) 利用人員欄の上段は所在人員又は延べ利用者数、下段は一日又は月平均の利用者数を表す。

表2 事業活動計算書

(自)平成29年4月1日(至)平成30年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	218,306,202	219,142,449	△836,247
	児童福祉事業収益	1,083,299,473	1,073,023,687	10,275,786
	保育事業収益	1,933,609,719	1,995,037,536	△61,427,817
	就労支援事業収益	1,000,321	0	1,000,321
	障害福祉サービス等事業収益	2,110,771,185	2,121,804,577	△11,033,392
	医療事業収益	1,184,190,903	1,202,885,592	△18,694,689
	受託事業等収益	1,209,141,804	1,209,894,405	△752,601
	公益・収益事業収益	560,409,611	593,732,656	△33,323,045
	経常経費寄附金収益	4,206,400	649,838	3,556,562
サービス活動収益計(1)	8,304,935,618	8,416,170,740	△111,235,122	
費用	人件費	6,464,975,823	6,483,452,221	△18,476,398
	事業費	839,405,917	841,902,371	△2,496,454
	事務費	811,364,718	743,820,162	67,544,556
	就労支援事業費用	1,324,782	0	1,324,782
	減価償却費	135,441,142	131,262,377	4,178,765
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△62,949,988	△58,458,689	△4,491,299
	徴収不能額	1,403,589	907,278	496,311
	サービス活動費用計(2)	8,190,965,983	8,142,885,720	48,080,263
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	113,969,635	273,285,020	△159,315,385	
サービス活動外増減の部	収益			
	その他のサービス活動外収益	41,340,912	61,401,897	△20,060,985
	サービス活動外収益計(4)	41,340,912	61,401,897	△20,060,985
	費用			
その他のサービス活動外費用	13,503,136	13,728,059	△224,923	
サービス活動外費用計(5)	13,503,136	13,728,059	△224,923	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	27,837,776	47,673,838	△19,836,062	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	141,807,411	320,958,858	△179,151,447	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	504,837,360	0	504,837,360
	その他の特別収益	13,972,210	676,530	13,295,680
	特別収益計(8)	518,809,570	676,530	518,133,040
	費用			
固定資産売却損・処分損	5,594,075	25,945	5,568,130	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△11,519,446	0	△11,519,446	
国庫補助金等特別積立金積立額	520,837,360	0	520,837,360	
特別費用計(9)	514,911,989	25,945	514,886,044	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	3,897,581	650,585	3,246,996	
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	145,704,992	321,609,443	△175,904,451	
法人税、住民税及び事業税(12)	5,069,500	0	5,069,500	
法人税等調整額(13)	0	0	0	
当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	140,635,492	321,609,443	△180,973,951	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	2,737,220,575	2,371,472,967	365,747,608
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	2,877,856,067	2,693,082,410	184,773,657
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	905,564,661	309,638,165	595,926,496
	その他の積立金積立額(19)	292,019,826	265,500,000	26,519,826
次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	3,491,400,902	2,737,220,575	754,180,327	

表3 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	2,609,949,704	2,520,521,576	89,428,128
現金預金	1,969,417,600	1,864,522,013	104,895,587
事業未収金	602,165,602	634,326,174	△32,160,572
未収金	885,380	945,110	△59,734
医薬品	13,344,317	3,097,890	10,246,427
診療・療養費等材料	11,053,554	6,300,229	4,753,325
立替金	1,220,485	1,350,654	△130,169
前払金	8,566,866	9,979,502	△1,412,636
仮払金	3,295,900	0	3,295,900
固定資産	7,826,281,591	7,295,077,532	531,204,059
基本財産	2,760,967,798	2,775,943,453	△14,975,655
土地	349,074,785	349,074,785	0
建物	2,401,893,013	2,416,868,668	△14,975,655
基本財産特定預金	10,000,000	10,000,000	0
その他の固定資産	5,065,313,793	4,519,134,079	546,179,714
土地	63,750,330	63,750,330	0
建物	1,199,937,976	0	1,199,937,976
構築物	122,366,040	27,009,385	95,356,655
機械及び装置	3,337,547	4,085,181	△747,634
車両運搬具	6,158,465	5,163,701	994,764
器具及び備品	91,185,224	65,178,033	26,007,191
建設仮勘定	0	117,938,479	△117,938,479
有形リース資産	38,063,622	63,612,600	△25,548,978
ソフトウェア	14,512,004	18,780,764	△4,268,760
無形リース資産	719,280	1,438,560	△719,280
退職給付引当資産	647,646,878	671,060,634	△23,413,756
長期預り金積立資産	10,064,850	0	10,064,850
人件費積立資産	1,195,388,192	1,079,308,192	116,080,000
施設整備等積立資産	1,336,624,032	1,869,377,710	△532,753,678
保育所施設・施設整備積立資産	335,051,853	531,923,010	△196,871,157
差入保証金	440,000	440,000	0
その他の固定資産	67,500	67,500	0
資産の部合計	10,436,231,295	9,815,599,108	620,632,187
負 債 の 部			
流動負債	944,261,748	877,338,972	66,922,776
事業未払金	344,307,790	280,337,276	63,970,514
1年以内返済予定リース債務	22,788,849	29,112,006	△6,323,157
未払費用	88,401,192	85,989,847	2,411,345
未払法人税等	5,069,500	0	5,069,500
預り金	70,830,161	64,696,194	6,133,967
職員預り金	50,060,320	44,820,438	5,239,882
前受金	3,906,830	3,582,850	323,980
賞与引当金	358,897,106	368,800,361	△9,903,255

固定負債	673,705,781	706,999,788	△33,294,007
リース債務	15,994,053	35,939,154	△19,945,101
退職給付引当金	647,646,878	671,060,634	△23,413,756
長期預り金	10,064,850	0	10,064,850
負債の部合計	1,617,967,529	1,584,338,760	33,628,769
純 資 産 の 部			
基本金	10,000,000	10,000,000	0
基本金	10,000,000	10,000,000	0
国庫補助金等特別積立金	2,449,798,787	2,003,430,861	446,367,926
国庫補助金等特別積立金	2,449,798,787	2,003,430,861	446,367,926
その他の積立金	2,867,064,077	3,480,608,912	△613,544,835
人件費積立金	1,195,388,192	1,079,308,192	116,080,000
施設整備等積立金	1,336,624,032	1,869,377,710	△532,753,678
保育所施設・設備整備積立金	335,051,853	531,923,010	△196,871,157
次期繰越活動増減差額	3,491,400,902	2,737,220,575	754,180,327
(うち当期活動増減差額)	140,635,492	321,609,443	△180,973,951
純資産の部合計	8,818,263,766	8,231,230,348	587,003,418
負債及び純資産の部合計	10,436,231,295	9,815,599,108	620,632,187

資料 事業団

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、環境局、上下水道局の平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）の収入、支出、契約、財産管理等の財務事務及びその他の事務の執行を対象とした。

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成30年7月11日から平成31年2月7日まで

4 監査の結果

(1) 環境局

監査の結果、事務はおおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア 契約事務

(ア) 委託契約事務について

(環境局温暖化対策課)

平成29年度北九州市 COOL CHOICE 普及啓発事業運営等業務委託について、指名型プロポーザル方式により受託候補者を選定し、特命随意契約を行っているが、契約に際して見積書を徴していなかった。受託者からプロポーザル参加申し込み時に見積書を徴しているが、これをもって契約締結のための見積書とすることはできない。また、受託者と協議し契約内容を変更しているが、変更に関して双方が記名押印した文書を作成しておらず、契約変更の手続きが行われていなかった。

市契約規則では、随意契約の方法によるうとするときは、見積書を徴するものとされている。また、地方自治法では、契約書を作成する場合は、契約の相手方とともに、契約書に記名押印しなければ、当該契約は確定しないとされている。変更契約についても同様である。

適正な事務処理をされたい。

(2) 上下水道局

監査の結果、事務はおおむね適正に処理されていたが、一部に次のような事項が認められた。これらについては、適切な措置を講じられたい。

ア 収入事務

(ア) 目的外使用料の滞納について

(上下水道局広域事業課)

行政財産の目的外使用許可に係る使用料の滞納について、延滞金を徴収していなかった。また、延滞金の割合について、市の条例に応じた規程の改正が行われていなかった。

北九州市上下水道局公有財産管理規程では、納付期限の翌日からこれを納付した日までの日数につき延滞金を徴収するものとされている。

また北九州市税外歳入の督促及び延滞金条例では、当分の間、延滞金の割合は各年の特例基準割合によるものとされている。

適正な事務処理をされたい。

イ 契約事務

(ア) 契約事務について

(上下水道局下水道整備課)

土地売買や補償に係る契約事務について、契約金額が500万円超2,000万円以下の場合は部長専決事項とされているが、課長決裁で処理しているものがあった。

また、当該契約事務については、業務手順等を定めたマニュアルを作成していなかった。

市上下水道局事務専決規程では、財務関係事務の部長又は課長に係る専決事項は、執行金額により区分して定めている。

業務マニュアルを整備して事務処理ミスの再発防止を図り、適正な事務処理をされたい。

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

(1) 財政援助団体

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が財政援助をしている環境局所管団体のうち、次の団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）に交付した補助金等に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

（平成30年6月30日現在、単位：千円）

補助金等 交付団体名	補助金等の名称	29年度 交付額	30年度 交付額	所管課
北九州ESD協議会	「北九州ESD協議会」事業活動負担金	25,570	23,430	環境学 習課
北九州エコライフ ステージ実行委員会	北九州エコライフス テージ負担金	15,492	15,628	
公立大学法人北九 州市立大学	北九州市環境未来技 術開発助成金	2,000	—	環境産 業推進 課

※30年度交付額は、平成30年6月30日までの交付済額。

(2) 公の施設の指定管理者

今回の監査は、市が公の施設の管理を行わせている環境局所管の指定管理者のうち、次の団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成3

0年4月から同年6月末日まで)の公の施設の管理に係る出納その他の事務の執行を対象とした。

指定管理者名	施設名	所管課
タカミヤ・マリバー里山を考える会 共同事業体	北九州市環境ミュージアム	環境学習課
ひびき灘開発株式会社	北九州市エコタウンセンター	環境産業推進課
	北九州市響灘ビオトープ	環境監視課

2 監査の方法

(1) 財政援助団体

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査を実施するとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成30年7月11日から平成31年2月7日まで

4 監査の結果

(1) 財政援助団体

監査に当たっては、補助金等がその目的に沿って適正に執行されているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

(2) 公の施設の指定管理者

監査に当たっては、条例及び協定に沿って適正な管理が行われているか等に着目して実施した。

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が資本金、基本金等の4分の1以上を出資している団体のうち、次の4団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）の事業における出納その他の事務の執行を対象とした。

- (1) 公益財団法人北九州市環境整備協会
- (2) 公益財団法人北九州国際技術協力協会
- (3) 株式会社北九州ウォーターサービス
- (4) 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査をするとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成30年7月11日から平成31年2月7日まで

4 事業の概要及び監査の結果

(1) 公益財団法人北九州市環境整備協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市環境整備協会（以下「整備協会」という。）は、廃棄物の適正処理並びに環境衛生に関する調査、研究、検査及び相談等を通じて生活環境の健全化を推進するとともに、公衆衛生の向上を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与することを目的として、昭和57年3月18日に設立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

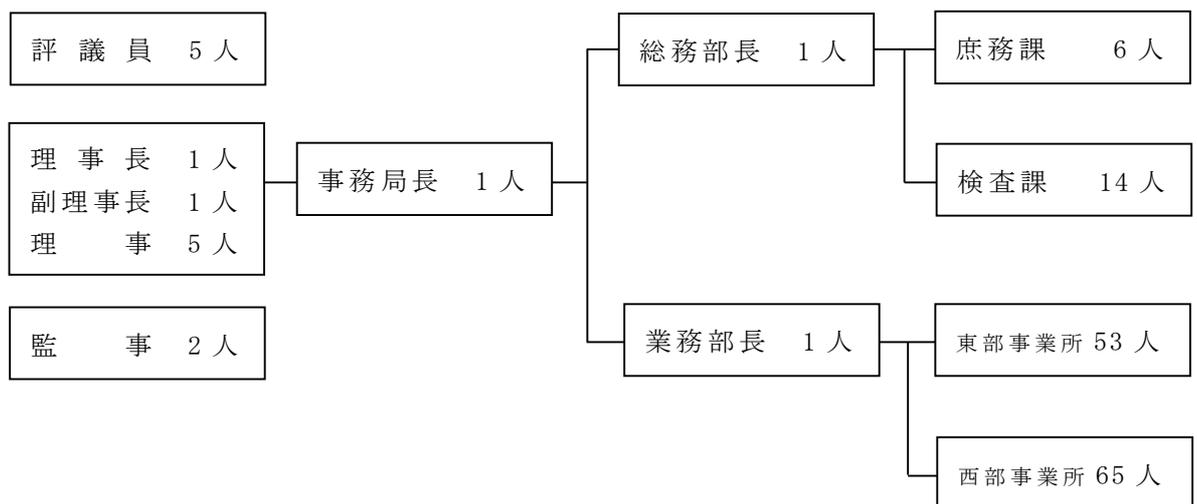
(イ) 現況

整備協会は、前記の事業目的を達成するため、一般廃棄物の適正処理及び減量並びに環境美化に関する事業、環境衛生に関する調査・研究・検査及び相談等に関する事業等を実施している。業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

整備協会の組織は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、整備協会の設立に当たり、基本財産1,000万円のうち300万円(30%)を出捐するとともに、市内の家庭から排出される家庭ごみ及び資源化物の収集運搬業務、環境検査分析業務等を委託

し、平成29年度は6億9,831万円、平成30年度は6月までに1億7,266万円の委託料を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

整備協会の平成29年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は682万円で、前年度と比べると1,083万円減少した。

収益は、前年度と比べ、2,516万円の減少となった。これは、環境検査分析事業収益が減少したことなどによるものである。

また、費用は、前年度と比べ、1,433万円の減少となった。これは、経常費用のうち、環境検査分析事業費が減少したことなどによるものである。

平成30年4月から市が一般ごみ収集運搬業務を全面委託化したことにより、安定的・継続的なごみ収集業務における整備協会の担う役割は大きくなっている。

今後とも、市から受託した廃棄物適正処理事業を安定的に実施するとともに、これまで蓄積した技術・ノウハウを活かした環境検査分析事業を推進し、環境学習・国際協力事業にも積極的に貢献して、健全な収支の維持に努められることを期待する。

表1 業務実績

(金額は税抜き)

事業名		平成28年度		平成29年度	
		件数等	収入(円)	件数等	収入(円)
環境 検査 分析 事業	浄化槽水質検査	1,309 検体	10,011,000	1,346 検体	10,257,200
	浄化槽法定検査	1,608 基	10,132,500	1,638 基	10,253,000
	簡易専用水道検査	858 基	14,622,867	799 基	13,637,225
	飲料水検査	723 検体	7,335,700	708 検体	7,007,100
	工場廃棄物等検査	678 検体	10,541,266	527 検体	8,784,479
	放射線測定	252 検体	2,524,000	253 検体	2,574,000
	小計		55,167,333		52,513,004
	廃棄物処分場排水処理 施設運転管理	1 件	8,387,411	1 件	7,815,286
	廃棄物処分場分析	1 件	21,692,419	1 件	15,563,267
	焼却工場に係る分析	1 件	5,000,000	1 件	6,668,000
	ごみ質等に係る分析	6 件	6,060,000	4 件	4,450,000
	公共用水域水質調査	6 件	33,450,000	1 件	2,050,000
	工場・事業所排水試験	0 件	0	1 件	8,300,000
	下水道工事に伴う水質 検査	1 件	396,000	1 件	313,000
	石油備蓄基地の飲料水 等検査	1 件	2,177,900	1 件	2,422,090
	病院排水水質検査	6 件	2,657,800	6 件	2,334,000
	pH検査	1 件	365,500	1 件	771,500
	国際研修	3 件	20,885,326	3 件	32,026,125
	環境学習	2 件	1,603,000	4 件	1,700,000
	その他分析	8 件	2,823,000	7 件	3,544,000
	小計		105,498,356		87,957,268
	環境検査分析事業計		160,665,689		140,470,272
	家庭ごみ収集運搬	1 件	674,305,200	1 件	676,753,212
市民いっせいまち美化	1 件	417,600	1 件	435,000	
廃棄物適正処理事業計		674,722,800		677,188,212	
合計		835,388,489		817,658,484	

表2 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額 (a)	平成28年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	224,406,575	249,724,690	△25,318,115
貯蔵品	637,646	780,317	△142,671
前払費用	459,308	459,308	0
仮払金	292,830	321,500	△28,670
未収金	105,539,917	97,634,473	7,905,444
流動資産合計	331,336,276	348,920,288	△17,584,012
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	55,282,731	52,642,939	2,639,792
減価償却引当資産	268,626,223	236,933,995	31,692,228
事業所改築修繕積立資産	6,131,782	6,131,782	0
西部事業所建設積立資産	6,272,000	6,272,000	0
塵芥車購入積立資産	9,957,600	29,808,000	△19,850,400
検査機器購入積立資産	10,435,600	10,435,600	0
特定資産合計	356,705,936	342,224,316	14,481,620
(3) その他固定資産			
建物	75,567,412	80,007,692	△4,440,280
建物付属設備	36,958,867	43,979,817	△7,020,950
構築物	42,402,829	45,186,151	△2,783,322
車両運搬具	80,635,643	75,336,423	5,299,220
機械装置	8,846,606	8,946,196	△99,590
備用品	2,408,040	2,420,172	△12,132
検査用機器	8,034,762	8,762,969	△728,207
一括償却資産	798,073	76,544	721,529
電話加入権	1,326,550	1,326,550	0
ソフトウェア開発費	3,883,600	1,204,000	2,679,600
車両リサイクル預託金	466,900	433,260	33,640
保証金	30,240	30,240	0
長期前払費用	459,308	918,616	△459,308
その他固定資産合計	261,818,830	268,628,630	△6,809,800
固定資産合計	628,524,766	620,852,946	7,671,820
資産合計	959,861,042	969,773,234	△9,912,192
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	55,671,777	79,707,226	△24,035,449
前受金	454,500	449,000	5,500
仮受金	0	0	0
未払消費税等	14,326,600	8,641,200	5,685,400
預り金	1,285,612	2,310,062	△1,024,450
流動負債合計	71,738,489	91,107,488	△19,368,999
2 固定負債			
退職給付引当金	55,282,731	52,642,939	2,639,792
固定負債合計	55,282,731	52,642,939	2,639,792
負債合計	127,021,220	143,750,427	△16,729,207
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(301,423,205)	(289,581,377)	(11,841,828)
正味財産合計	832,839,822	826,022,807	6,817,015
負債及び正味財産合計	959,861,042	969,773,234	△9,912,192

表3 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額 (a)	平成28年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[2,500]	[2,500]	[0]
基本財産受取利息	2,500	2,500	0
② 事業収益	[817,658,484]	[835,388,489]	[△17,730,005]
廃棄物適正処理事業収益	677,188,212	674,722,800	2,465,412
環境検査分析事業収益	140,470,272	160,665,689	△20,195,417
③ 雑収益	[2,984,114]	[929,837]	[2,054,277]
受取利息	2,468	4,360	△1,892
雑収益	2,981,646	925,477	2,056,169
経常収益計	820,645,098	836,320,826	△15,675,728
(2) 経常費用			
① 事業費	[761,664,071]	[775,339,044]	[△13,674,973]
廃棄物適正処理事業費	(613,144,121)	(617,169,141)	(△4,025,020)
給料	390,849,341	386,944,564	3,904,777
臨時雇賃金	14,243,375	19,180,528	△4,937,153
退職給付費用	305,895	744,958	△439,063
退職共済掛金	144,000	288,000	△144,000
福利厚生費	78,146,015	77,133,619	1,012,396
旅費交通費	1,232,096	1,432,306	△200,210
減価償却費	24,877,397	21,841,625	3,035,772
通信運搬費	575,581	643,171	△67,590
消耗什器備品費	1,029,900	1,648,102	△618,202
消耗品費	4,018,048	3,399,888	618,160
修繕費	38,499,511	45,152,622	△6,653,111
印刷製本費	70,800	87,150	△16,350
燃料費	32,088,481	29,560,574	2,527,907
光熱水費	6,772,475	6,318,473	454,002
使用料及び賃借料	534,487	609,018	△74,531
保険料	7,786,266	9,853,946	△2,067,680
租税公課	4,288,500	4,228,600	59,900
負担金	42,000	45,000	△3,000
委託費	7,081,908	7,365,420	△283,512
手数料	470,608	560,887	△90,279
雑費	87,437	130,690	△43,253

科 目	平成 2 9 年度 決 算 額 (a)	平成 2 8 年度 決 算 額 (b)	差 引 (a)-(b)
環境検査分析事業費	(148,519,950)	(158,169,903)	(△9,649,953)
給 料	74,196,025	72,527,280	1,668,745
臨時雇賃金	0	83,318	△83,318
退職給付費用	1,846,070	3,822,232	△1,976,162
退職共済掛金	1,776,000	1,524,000	252,000
福利厚生費	12,652,470	12,208,177	444,293
旅費交通費	9,672,945	8,015,448	1,657,497
減価償却費	7,836,193	7,108,681	727,512
通信運搬費	1,055,712	1,095,783	△40,071
消耗什器備品費	380,700	88,000	292,700
消耗品費	5,715,870	9,346,770	△3,630,900
修繕費	929,993	1,091,761	△161,768
印刷製本費	277,500	295,100	△17,600
燃料費	512,220	527,511	△15,291
光熱水費	2,533,052	2,159,967	373,085
使用料及び賃借料	12,621,808	15,267,188	△2,645,380
保険料	879,800	885,102	△5,302
諸謝金	1,340,000	1,510,913	△170,913
租税公課	115,250	166,950	△51,700
負担金	827,444	694,582	132,862
委託費	12,972,829	19,282,542	△6,309,713
手数料	323,621	387,420	△63,799
海外資材費	0	0	0
雑費	54,448	81,178	△26,730
② 管理費	(52,160,056)	(46,289,520)	(5,870,536)
役員報酬	6,512,727	6,609,538	△96,811
給料	23,863,660	21,994,024	1,869,636
臨時雇賃金	1,983,968	254,130	1,729,838
退職給付費用	506,690	18,240	488,450
退職共済掛金	312,000	120,000	192,000
福利厚生費	7,512,981	7,014,372	498,609
旅費交通費	97,219	100,165	△2,946
減価償却費	866,241	132,742	733,499
通信運搬費	429,704	428,277	1,427
消耗什器備品費	0	307,756	△307,756
消耗品費	301,775	343,816	△42,041
修繕費	13,691	153,111	△139,420
印刷製本費	231,125	177,550	53,575
燃料費	44,084	48,252	△4,168
光熱水費	1,447,472	1,248,155	199,317

科 目	平成 2 9 年度 決 算 額 (a)	平成 2 8 年度 決 算 額 (b)	差 引 (a)-(b)
使用料及び賃借料	2,106,548	2,098,440	8,108
保 険 料	186,642	281,742	△95,100
諸 謝 金	141,370	62,562	78,808
租 税 公 課	733,705	822,400	△88,695
負 担 金	177,319	159,940	17,379
委 託 費	4,090,296	3,403,191	687,105
手 数 料	110,445	126,707	△16,262
雑 費	490,394	384,410	105,984
経 常 費 用 計	813,824,127	821,628,564	△7,804,437
評価損等調整前当期経常増減額	6,820,971	14,692,262	△7,871,291
基 本 財 産 評 価 損 益	0	0	0
特 定 資 産 評 価 損 益	0	0	0
投資有価証券等評価損益	0	0	0
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	6,820,971	14,692,262	△7,871,291
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	19,038	△19,038
② 退職給付引当金戻入額	0	9,460,349	△9,460,349
経 常 外 収 益 計	0	9,479,387	△9,479,387
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	1	1	0
② 訴訟関連損失	0	6,521,059	△6,521,059
③ 雑損失	3,955	3,494	461
経 常 外 費 用 計	3,956	6,524,554	△6,520,598
当 期 経 常 外 増 減 額	△3,956	2,954,833	△2,958,789
税引前当期一般正味財産増減額	6,817,015	17,647,095	△10,830,080
法人税、住民税及び事業税等	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	6,817,015	17,647,095	△10,830,080
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	826,022,807	808,375,712	17,647,095
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	832,839,822	826,022,807	6,817,015
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	832,839,822	826,022,807	6,817,015

資料 整備協会

(2) 公益財団法人北九州国際技術協力協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州国際技術協力協会（以下「協力協会」という。）は、北九州市及び周辺地域に蓄積された産業技術をもとに、必要な調査研究を進めるとともに、開発途上国等に対する国際協力や技術協力などを通じて地球規模での環境保全を推進し、ひいては人類社会の持続可能な発展に寄与することを目的として、昭和55年7月14日に設立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

(イ) 現況

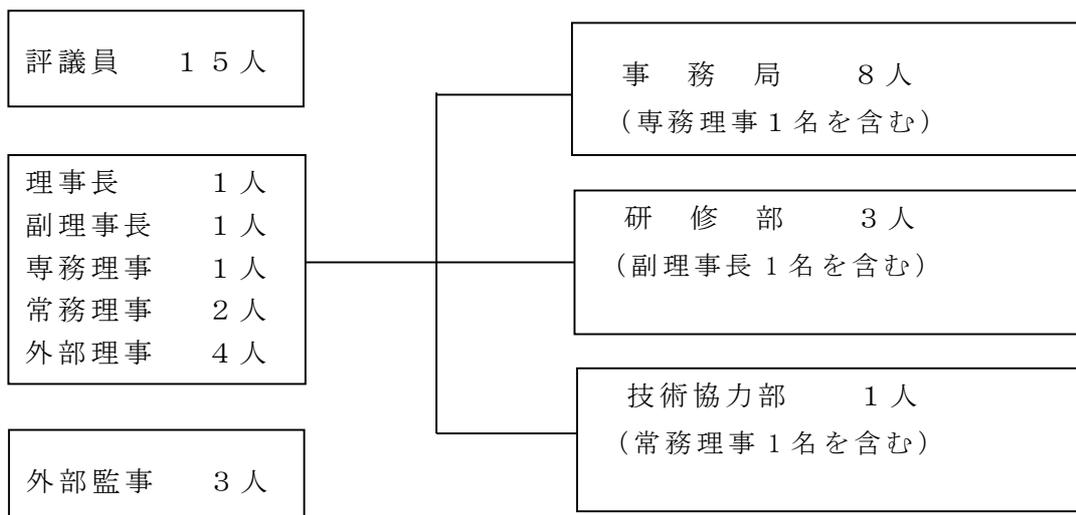
協力協会は、前記の事業目的を達成するため、関係機関と連携しながら、開発途上国等の研修員を対象とした研修カリキュラム・教材の整備・改善や研修コースの設定、実施をはじめ、専門技術者の海外派遣による技術協力などを行っているほか、国際親善を深めるための交流事業等を企画、実施している。

業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

協力協会の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(注) 各所属の人数は兼務者を含む。

(エ) 市との関係

市は、協力協会の設立に当たり、基本財産5億1,376万円のうち、2億1,000万円(40.9%)を出捐するとともに、調査研究活動事業等に対する運営補助金として、平成29年度は、3,260万円を支出し、平成30年度は、6月末までに3,260万円の交付を決定している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

協力協会の平成29年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は1,414万円のマイナスであり、前年度と比べると2億915万円減少した。これは、前年度に指定正味財産から一般正味財産へ1億4,400万円を振り替えたこと(平成27年度に指定正味財産に振り替えた金額を内閣府の指導を踏まえて前年度に一般正味財産に戻したもの。)により生じた経常外収益が皆減したことや、基本財産評価損益が4,472万円減少したことなどによるものである。

収益のうち経常収益は、前年度と比べ、2,757万円の減少となった。これは、JICAからの研修事業収益や技術協力事業収益が減少したことなどによるものである。

費用のうち経常費用は、前年度と比べ、1,229万円の減少となった。これは、事業の減少などにより諸謝金や旅費交通費等が減少したことなどによるものである。

協力協会では、平成27年度からマスタープラン(10年計画)を策定し、事業の構造改革に取り組んでいる。今後とも、関係機関等との緊密な連携のもと研修事業や技術協力事業の充実強化を図り、国際技術協力をより一層推進することを期待する。

表1 業務実績（平成29年度）

【研修事業】

海外から研修員を受け入れ、環境管理、省・新エネルギー等の技術研修を実施した。JICA研修34コースを実施、313名の研修員が参加した。

区分	No.	コース名	参加 国数	研修 員数
環境管理	1	廃棄物管理技術（応用・技術編）（A）	7	9
	2	廃棄物管理技術（応用・技術編）（B）	8	9
	3	コンポスト事業運営（A）	7	8
	4	コンポスト事業運営（B）	10	11
水資源・ 処理	1	下水道システム維持管理（B）	8	8
	2	水環境行政	6	7
	3	ベトナム下水道経営	1	10
	4	統合水資源管理（アフガニスタン）	1	7
	5	分散型汚水処理システム導入・普及	8	9
生産技術 ・地場産 業活性化	1	中南米地域中小企業・地場産業活性化（A）	6	9
	2	中南米地域中小企業・地場産業活性化（B）	9	13
	3	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略（B）	6	9
	4	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略（E）	6	8
	5	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略（C）	7	10
	6	職業訓練の運営・管理と質的強化（C）	7	9
	7	日本のモノづくり現場のノウハウ	9	11
	8	アフリカ地域起業家育成・中小零細企業活性化	5	8
	9	日系研修 中小企業振興	1	6
	10	日系研修 和食ビジネス振興	5	6
省・新エ ネルギー	1	エネルギーの高効率利用と省エネの推進（A）	9	9
	2	エネルギーの高効率利用と省エネの推進（B）	5	8
	3	再生可能エネルギー導入計画（A）	9	9
	4	再生可能エネルギー導入計画（B）	7	8
	5	民生部門の省エネルギー技術（A）	6	8
	6	民生部門の省エネルギー技術（B）	6	8
	7	高効率クリーン火力発電の推進（A）	5	6
	8	高効率クリーン火力発電の推進（B）	8	9
	9	青年研修 中央アジア・コーカサス再生可能エネルギー	5	21
	10	青年研修 アフリカ再生可能エネルギー	9	14
	11	掘削マネージメント	6	7
	12	廃棄物処理技術の高度化（ウクライナほか）	3	14
保健衛生 他	1	食品安全行政	9	10
	2	持続的な都市開発のための都市経営（A）	6	7
	3	持続的な都市開発のための都市経営（B）	8	8

【技術協力事業】

海外への専門技術者派遣事業などを実施した。

(1) 中小企業海外展開支援

対象国・地域	実 績
ベトナム	○南部地域（ホーチミン市、バリアブンタウ州等）での生産委託先の開拓及び商品販路拡大の支援を実施した。 ・6月4日～8日 参加企業5社 ・1月28日～2月1日 参加企業7社

(2) 技術指導・技術支援

対象国・内容	実 績
ベトナム コンポスト製造技術指導	○ハイフォン市からのコンポスト製造技術向上指導要請に対し、技術専門家を派遣し、現地指導を実施した。
フィリピン 廃棄物管理指導	○「ダバオ市における廃棄物管理能力向上指導事業（JICA 草の根技術協力事業）」に対し、技術専門家を派遣し、現地指導を実施した。 H29年度～H31年度の3年間かけて指導する予定。
フィリピン 廃棄物発電事業基礎調査	○「ダバオ市での廃棄物発電事業にかかる準備調査・事業化検討事業（環境省補助金事業）」に対し、現地調査への技術専門家派遣と訪日研修（2回）を実施した。
カンボジア 廃棄物管理指導	○「プノンペン都における廃棄物管理能力向上指導事業（JICA 草の根技術協力事業）」が採択され、実行に向けての事前協議を開始した。

(3) 委託研修

研修名	関係箇所	実 績
自治体職員受入れ研修	北九州市環境局、 上下水道局	○受入れ研修員に関する事務処理を実施した。 ・大連市、プノンペン都 各1名
環境調査研修所研修	環境省環境調査研修所 北九州市環境局 福岡県環境部	○2件の委託研修を実施した。 ・廃棄物・リサイクル専攻別研修4日間（国内自治体職員39名） ・国際環境協力基本研修5日間（国内自治体職員10名）
ハイフォン市企業経営者向け経営塾	ベトナム日本人材協力センター	○経営塾の総仕上げである訪日研修の一部（北九州での実施分）を分担実施した。

(4) コンサルティング事業

案件名	実績
マレーシア国における食品廃棄物の堆肥化及びリサイクルループの構築に係る案件化調査（マレーシア）	○JICA の 2017 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業/案件化調査に応募し、採択された。 今年度は 3 回の現地調査を実施した。 事業期間：H29.11 月～H31.2 月
高濃度有機産業排水を対象とした高性能排水処理システムの普及・実証事業（ベトナム）	○JICA の 2017 年度中小企業海外展開支援事業/普及・実証事業に応募したが、不採択となった。 2018 年度案件募集に再挑戦する。
コンクリート用再生骨材製造システムによる建設廃材の再資源化・資源循環ループの確立に係る案件化調査（タイ）	○JICA の 2018 年度中小企業海外展開支援事業/案件化調査に応募すべく、企画書を作成中。
交通安全対策に向けた日本式運転教習法導入による優良自動車学校群の構築に係る案件化調査（ベトナム）	○JICA の 2018 年度中小企業海外展開支援事業/案件化調査に応募すべく、企画書を作成中。

(5) その他

案件名	関係箇所	実績
北九州メンテナンス技術研究会（K M E）の再編入	会員会社（48 社）	○年度計画通り、以下の活動を実施した。 ・予知保全研究部会：15 名（11 社）×6 回 ・疲労・強度セミナー：20 名（12 社） ・腐食・防食セミナー：13 名（8 社） ・溶接技術セミナー：21 名（12 社） ・トライボロジーセミナー：11 名（5 社） ・制御技術セミナー：12 名（8 社） ・設備診断技術（電気編）セミナー：9 名（7 社） ・実践的油圧技術セミナー：22 名（9 社） ・設備診断技術（機械編）セミナー：10 名（8 社） ○本年度の退会 3 社、新規入会 4 社

【国際親善交流事業】

海外研修員を対象とした国際親善交流事業を実施した。

(1) 親善交流プログラム

プログラム	実績
ホームビジット	○研修員を登録ホストファミリーの家庭に招き、日常生活の中でお互いの伝統や文化、生活習慣等に触れる機会を設け、国際親善を図る日帰りの交流事業を実施した。 ・4回実施、27カ国34名参加、ホストファミリー32家庭
バスハイク	○北九州近郊の歴史・文化に触れ、また、市民の憩いの場を体験してもらうプログラムとして、長府及び海響館を巡るバスハイクを実施した。
西日本工業倶楽部の夕べ	○西日本工業倶楽部での施設見学や夕食会とあわせ、邸内で茶道を体験するプログラムを実施した。
地元企業交流会	○地元企業の若手社員と研修員との交流会として実施しているプログラムで、すしパーティを開催した。
地元大学生との交流会	○北九州市立大学地域共生教育センター国際交流プロジェクトメンバーの学生が企画した、研修員に日本文化や北九州近郊の歴史に触れてもらうプログラムを実施した。
ボウリング大会	○研修員に気軽に参加してもらい、交流を深めるための親善プログラムとして、ボウリング大会を開催した。
ギラヴァンツ北九州サッカー観戦	○北九州を本拠地とする唯一のプロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」の観戦応援プログラムを実施した。

(2) 英文生活情報誌の配付

毎年改訂発行している生活情報冊子「Let's Enjoy Kitakyushu!」を研修生全員に配付した。

(3) 記念写真CD・メッセージフォト作成・贈呈

(4) グリーティング電子メール送付

グリーティングメール送信件数：3,609通

閉講式写真送付メール送信件数：287通

【広報活動】

(1) 季刊誌「K I T A ニュースの発行」

年4回（日本語版：7月と1月、英語版：4月と10月）発行した。

(2) ホームページの更新

最新記事の掲載・更新などを適宜行い、活動内容などを紹介した。

表2 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	44,173,253	54,325,872	△10,152,619
未収金	44,798,787	44,510,290	288,497
前払金	260,633	475,891	△215,258
立替金	18,160	11,695	6,465
仮払金	23,038	0	23,038
流動資産合計	89,273,871	99,323,748	△10,049,877
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	90,969,300	90,969,300	0
投資有価証券	465,559,170	466,535,420	△976,250
基本財産合計	556,528,470	557,504,720	△976,250
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,569,027	4,600,091	968,936
KME事業推進資産	1,552,014	2,331,228	△779,214
特定資産合計	7,121,041	6,931,319	189,722
(3) その他固定資産			
建物附属設備	1,622,773	1,803,659	△180,886
什器備品	1,279,321	2,363,833	△1,084,512
ソフトウェア	4,781,850	11,093,040	△6,311,190
電話加入権	371,808	371,808	0
長期前払費用	114,264	173,880	△59,616
その他固定資産合計	8,170,016	15,806,220	△7,636,204
固定資産合計	571,819,527	580,242,259	△8,422,732
資産合計	661,093,398	679,566,007	△18,472,609
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,660,008	9,960,288	△3,300,280
預り金	1,775,767	1,729,358	46,409
賞与引当金	2,472,000	2,376,000	96,000
未払消費税等	630,600	1,992,600	△1,362,000
流動負債合計	11,538,375	16,058,246	△4,519,871
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,569,027	4,600,091	968,936
固定負債合計	5,569,027	4,600,091	968,936
負債合計	17,107,402	20,658,337	△3,550,935
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,552,014	2,331,228	△779,214
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,552,014)	(2,331,228)	(△779,214)
2. 一般正味財産	642,433,982	656,576,442	△14,142,460
(うち基本財産への充当額)	(556,528,470)	(557,504,720)	(△976,250)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	643,985,996	658,907,670	△14,921,674
負債及び正味財産合計	661,093,398	679,566,007	△18,472,609

表3 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで、単位：円)

科目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,676,790	4,677,969	△1,179
事業収益			
研修事業収益	122,819,363	134,367,355	△11,547,992
技術協力事業収益	33,070,560	47,981,842	△14,911,282
事業収益計	155,889,923	182,349,197	△26,459,274
受取補助金等			
北九州市補助金	32,600,000	32,600,000	0
その他助成金	100,000	100,000	0
受取補助金等計	32,700,000	32,700,000	0
受取寄附金			
指定正味財産からの振替額 (KME事業費充当額)	779,214	1,816,535	△1,037,321
受取寄附金計	779,214	1,816,535	△1,037,321
雑収益			
受取利息	28	79	△51
雑収益	41,618	110,667	△69,049
雑収益計	41,646	110,746	△69,100
経常収益計	194,087,573	221,654,447	△27,566,874
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	9,984,000	12,144,000	△2,160,000
職員人件費	14,966,837	14,468,427	498,410
賞与引当金繰入	1,737,000	1,699,500	37,500
退職給付引当金繰入	487,068	143,681	343,387
嘱託等人件費	43,646,963	41,985,183	1,661,780
諸謝金	44,240,599	48,946,429	△4,705,830
広報費	1,239,377	1,211,466	27,911
材料費	4,421,311	5,904,711	△1,483,400
旅費交通費	23,387,926	27,307,644	△3,919,718
通信費	1,139,347	1,394,822	△255,475
賃借料	8,399,072	8,743,674	△344,602
翻訳通訳料	10,865,395	11,315,541	△450,146
印刷製本費	2,794,302	2,941,126	△146,824
光熱費	1,044,412	878,140	166,272
修繕料	21,600	1,031,400	△1,009,800
使用料	1,419,521	0	1,419,521
減価償却費	7,772,855	8,049,255	△276,400
租税公課	2,533,500	3,734,050	△1,200,550
研修費会費	1,788,358	2,166,492	△378,134
事務用品費	1,350,686	1,951,853	△601,167
システムインフラ整備費	3,142,767	3,099,618	43,149
雑費	1,072,266	1,280,386	△208,120

事業費計	187,455,162	200,397,398	△12,942,236
管理費			
役員報酬	1,296,000	1,296,000	0
職員人件費	8,933,589	8,703,269	230,320
賞与引当金繰入	735,000	676,500	58,500
退職給付引当金繰入	481,868	259,891	221,977
嘱託等人件費	1,286,696	1,235,054	51,642
諸謝金	1,546,321	1,569,466	△23,145
広報費	697,151	681,451	15,700
旅費交通費	640,678	756,608	△115,930
通信費	145,940	172,448	△26,508
賃借料	1,167,682	1,241,359	△73,677
翻訳通訳料	75,867	55,617	20,250
印刷製本費	34,322	27,637	6,685
光熱費	258,766	218,091	40,675
修繕料	0	104,760	△104,760
使用料	341,095	0	341,095
減価償却費	392,547	317,060	75,487
租税公課	56,420	31,120	25,300
研修費会費	569,040	416,832	152,208
事務用品費	31,968	23,758	8,210
システムインフラ整備費	136,923	115,272	21,651
雑費	970,746	1,242,760	△272,014
管理費計	19,798,619	19,144,953	653,666
経常費用計	207,253,781	219,542,351	△12,288,570
評価損益等調整前当期経常増減額	△13,166,208	2,112,096	△15,278,304
基本財産評価損益等			
基本財産評価損益	△976,250	43,744,720	△44,720,970
基本財産売却損益	0	5,193,905	△5,193,905
基本財産評価損益等計	△976,250	48,938,625	△49,914,875
当期経常増減額	△14,142,458	51,050,721	△65,193,179
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産からの振替額	0	144,000,000	△144,000,000
経常外収益計	0	144,000,000	△144,000,000
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
什器備品除却損	2	47,600	△47,598
経常外費用計	2	47,600	△47,598
当期経常外増減額	△2	143,952,400	△143,952,402
当期一般正味財産増減額	△14,142,460	195,003,121	△209,145,581
一般正味財産期首残高	656,576,442	461,573,321	195,003,121
一般正味財産期末残高	642,433,982	656,576,442	△14,142,460
II 指定正味財産増減の部			
KMEからの受取寄附金	0	4,147,763	△4,147,763
一般正味財産への振替額	△779,214	△145,816,535	145,037,321

当期指定正味財産増減額	△ 779, 214	△ 141, 668, 772	140, 889, 558
指定正味財産期首残高	2, 331, 228	144, 000, 000	△ 141, 668, 772
指定正味財産期末残高	1, 552, 014	2, 331, 228	△ 779, 214
Ⅲ 正味財産期末残高	643, 985, 996	658, 907, 670	△ 14, 921, 674

資料 協力協会

(3) 株式会社北九州ウォーターサービス

ア 事業の概要

(ア) 目的

株式会社北九州ウォーターサービス（以下「会社」という。）は、北九州市と民間企業が共同出資し、行政出資団体の強みと株式会社の強みを活かした公民共同事業体として、「北九州市と国内外の上下水道事業体の発展と豊かな水環境の創造を支援する新たな担い手」となることを目指して、平成27年12月1日に設立された法人である。

(イ) 現況

会社は、前記の事業目的を達成するため、一般財団法人北九州上下水道協会から事業を譲り受け、また、北九州市から宗像地区事務組合の水道事業を新たに受託して、平成28年4月に本格的に事業を開始した。

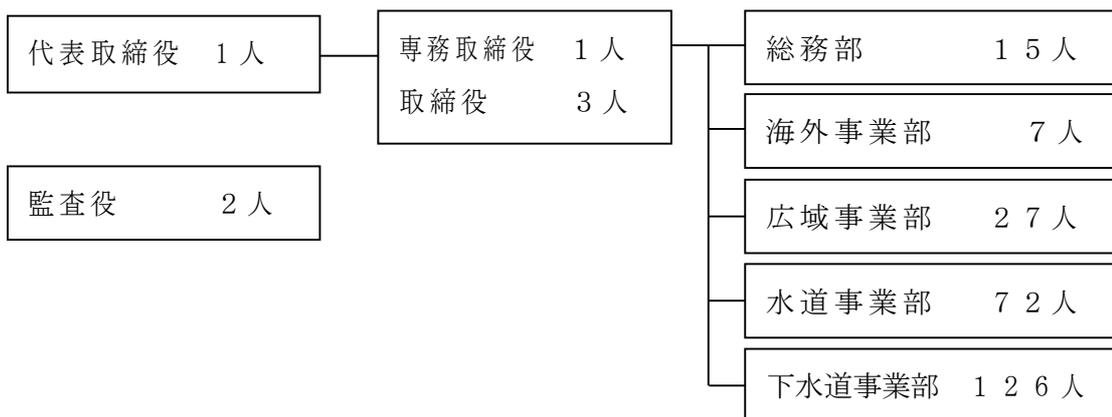
業務の実施状況は、表1のとおりである。

また、損益計算書、貸借対照表及び株主資本等変動計算書は、表2、表3及び表4のとおりである。

(ウ) 組織

会社の組織は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、会社の設立に当たり、資本金1億円のうち5,400万円(54%)を出資している。

また、平成30年度は6月末までに委託料8件、18億5,600万円の契約を締結している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務の執行は、おおむね適正に処理されていた。

会社の第3期(平成29年度)の収支状況を見ると、経常利益は前年度と比べて311万円減少の8,512万円、純利益は前年度と比べて193万円減少の5,138万円となった。この結果、平成29年度末の繰越利益剰余金は9,495万円となった。

経営状況については、事業開始以降順調に推移しているが、収益の大部分は市からの受託事業収入という状況である。今後は、技術やノウハウを活かした自主事業による経営の自立性を強化するとともに、人材の確保と技術の承継による持続可能な体制作りを構築しながら、北九州市の上下水道事業の補完的役割を担う事業者として成長していくことを期待する。

表 1 業務実績（平成 29 年度）

1 受託事業

事業名	内容
(1) 水道・下水道・河川に係る施設等の維持管理等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・給水装置工事審査・検査補助等業務 ・井手浦浄水場運転監視等業務 ・排水処理施設運転整備等業務 ・浄化センター中央操作等業務 ・新町・北湊浄化センター等運転整備等業務 ・排水設備工事審査等補助業務 ・竹馬川・貫川防潮水門監視業務
(2) 広域連携（宗像地区事務組合）に係る受託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場運転維持管理業務 ・水道管路等の維持管理業務 ・給水装置工事の審査・検査業務 ・水道施設の建設改良工事に関する業務
(3) 北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局業務	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の運営、協議会のホームページ運用、関係省庁や支援機関の支援情報提供、広報

2 自主事業

事業名	内容
(1) 海外事業（海外水ビジネス事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 中小企業海外展開支援事業における水質分析関連業務 ・ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係るコンサルティング業務 ・JICA ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画詳細設計 など
(2) 海外事業（国際協力事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度「水環境行政」コース研修実施 ・JICA 集団研修「下水道システム維持管理(B)」コース研修実施
(3) 水道・下水道事業に係る公有地活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公有地借上げによる駐車場管理運営業務
(4) 福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助業務	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者試験及び更新講習に関する業務の補助 ・県下水道協会の経理業務、総会、幹事会に関する補助業務

表 2 損益計算書の年度比較

(単位：円)

科 目	平成 2 9 年度 決算額 (A)	平成 2 8 年度 決算額 (B)	差 引 (A) — (B)
売上高	1,757,866,557	1,697,253,644	60,612,913
売上原価	1,488,464,164	1,480,337,809	8,126,355
<売上総利益>	269,402,393	216,915,835	52,486,558
販売費及び一般管理費	217,180,824	147,589,965	69,590,859
<営業利益>	52,221,569	69,325,870	△17,104,301
営業外収益	32,901,054	18,908,543	13,992,511
受取利息	2,247	3,066	△819
雑収入	32,898,807	18,905,477	13,993,330
営業外費用	1	2	△1
雑損失	1	2	△1
<経常利益>	85,122,622	88,234,411	△3,111,789
<税引前当期純利益>	85,122,622	88,234,411	△3,111,789
法人税、住民税及び事業税	33,746,038	34,932,264	△1,186,226
<当期純利益>	51,376,584	53,302,147	△1,925,563

表3 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	397,532,109	【流動負債】	236,718,315
現金及び預金	251,744,080	買掛金	78,603,676
売掛金	124,095,800	未払金	20,630,575
貯蔵品	4,495,249	未払費用	28,900,841
前払費用	2,106,210	未払法人税等	16,280,200
未収入金	15,090,770	未払消費税等	16,560,300
		預り金	5,893,838
【固定資産】	55,307,504	前受収益	6,752,900
有形固定資産	28,611,110	賞与引当金	63,095,085
建物	5,948,591	その他	900
建物付属設備	7,145,346		
機械装置	3,579,980	【固定負債】	21,170,775
車両運搬具	6,379,676	退職給付引当金	21,170,775
工具器具備品	5,557,517		
無形固定資産	7,220,220	負 債 合 計	257,889,090
ソフトウェア	6,868,620		
その他	351,600	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	19,476,174	【株主資本】	194,950,523
出資金	4,493,600	資本金	100,000,000
差入保証金	14,590,160	利益剰余金	94,950,523
長期前払費用	374,074	その他利益剰余金	94,950,523
その他	18,340	繰越利益剰余金	94,950,523
		純 資 産 合 計	194,950,523
資 産 合 計	452,839,613	負債・純資産合計	452,839,613

表4 株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日、単位：円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
		繰越利益 剰余金			
当期首残高	100,000,000	43,573,939	43,573,939	143,573,939	143,573,939
当期変動額	0	51,376,584	51,376,584	51,376,584	51,376,584
当期純利益	0	51,376,584	51,376,584	51,376,584	51,376,584
当期末残高	100,000,000	94,950,523	94,950,523	194,950,523	194,950,523

資料 株式会社北九州ウォーターサービス

(4) 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団（以下「財団」という。）は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うとともに、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、もって市民生活の向上と市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的として、昭和51年4月1日に設立され、平成25年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

(イ) 現況

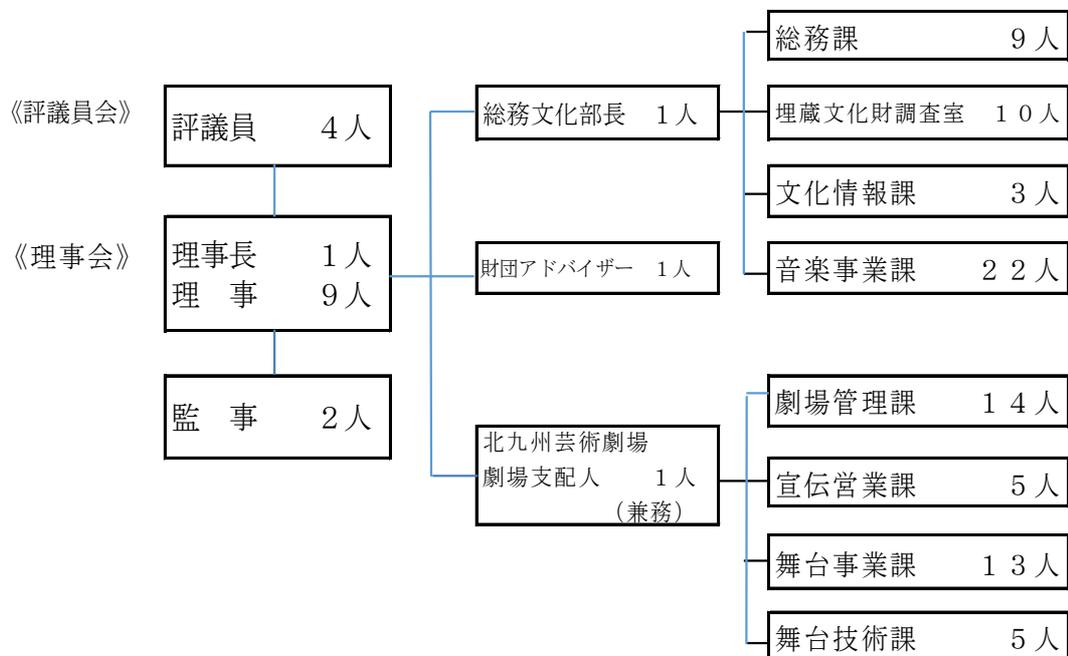
財団は、前記の事業目的を達成するため、芸術文化の振興に関する事業、芸術文化に関する情報の収集及び提供に関する事業、市から受託した芸術文化事業・文化施設等の管理運営事業、及び埋蔵文化財発掘調査事業等を行っている。

業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

財団の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、財団の設立に当たり、基本財産500万円を全額出捐しているほか、北九州芸術劇場や響ホールでの公演に補助金を支出するとともに、芸術文化施設の管理運営、文化情報の提供及び埋蔵文化財の発掘調査研究事業等を委託している。

市は、平成29年度、財団に補助金9,062万円、委託料1億8,958万円を支出している。また、平成30年度は、6月末までに、補助金3,300万円、委託料3億2,081万円を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

財団の平成29年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は1,547万円であり、前年度と比べると2,425万円増加した。

収益のうち経常収益は、前年度と比べ、1億2,146万円の減少となった。これは、公演収入等の文化振興事業収益や埋蔵文化財事業収益が減少したことなどによるものである。

費用のうち経常費用は、前年度と比べ、1億4,645万円の減少となった。これは、事業規模に応じて委託費等が減少したことなどによるものである。

財団は、市から北九州芸術劇場、響ホール及び大手町練習場の3つの芸術文化施設の指定管理者として指定を受け、管理及び運営を行っている。また、これらの施設を活用し、良質な舞台芸術や質の高い音楽の鑑賞機会の提供を実施し、芸術文化活動の振興に取り組んでいる。

経営状況については、黒字を確保しているが、収益の大半が市からの受託事業収入や補助金収入であることから、チケット収入等の自主財源の拡大や効率的な事業運営等に向けた経営努力を図りつつ、多様な事業を通じて、市民に優れた芸術文化に接する機会を提供するとともに、新たな芸術文化の創造を行い、市の芸術文化の振興に寄与していくことを期待する。

表1 業務実績

1 文化創造事業の実施

(1) 舞台芸術の振興

ア 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
北九州芸術劇場プロデュース 「彼の地Ⅱ ～逢いたいひ、と。」	北九州芸術劇場小劇場 2月17日～25日 8公演	平成19年度からの「青春の門 放浪篇」に始まる、第一線で活躍 する演劇人が北九州に滞在し、地 域の俳優やスタッフと北九州をモ チーフとした作品を創る北九州芸 術劇場プロデュースシリーズ。オー ディションを実施し、地域で活 躍する役者を出演者に起用するな ど“モノづくりの街・北九州”を 市内外に発信した。29年度は北 九州、東京のほか、愛知県豊橋市 でも上演。 【作・演出】 桑原裕子（KAKUTA）	北九州公演 895人
	あうるすぽっと（東京） 3月2日～4日 3公演		東京公演 774人
	穂の国とよはし芸術 劇場 PLATアールスペース（愛知） 3月10日・11日 2公演		豊橋公演 252人
			合計 1,921人
他4件			1,720人

イ 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
地域のアートレパトリリー 創造事業	北九州芸術劇場×リ バーウォーク北九州 集まれリバダン！！ プロジェクト「踏み 出せリバダン！！」 ワークショップ 3月21日	地域（地域や企業等）と劇場が 協働して創造活動を行った。こ れまで創作してきた、ギラヴァ ンツ北九州との協働による「ギ ラダンス」を普及するプロジェ クトと、リバーウォーク北九州 との協働による「リバダン」を リバーウォーク北九州15周年 にあわせて市民に広めるためワ ークショップを実施した。	42人
他10件（再掲1件含む）			2,230人

ウ 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
「ロッキー・ホラー・ショー」	北九州芸術劇場 大ホール 12月9日・10日 3公演	1973年にイギリスで初演し、世界中を熱狂の渦に巻き込んできた伝説のロック・ミュージカルを上演。 【脚本・作詞・作曲】 リチャード・オブライエン 【演出】河原雅彦 【出演】古田新太、小池徹平、ISSA、ソニンほか	3,438人
他 15 件			11,009人

エ 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業提携等により、さまざまなジャンルの公演を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
【協力公演】 パルコ・プロデュース 「すべての四月のために」	北九州芸術劇場 大ホール 12月22日～24日 4公演	舞台「焼肉ドラゴン」の作・演出で演劇賞を総舐めにし、映画「月はどっちに出ている」「愛を乞うひと」で数々の賞に輝いた鄭義信による新作。 【作・演出】鄭義信 【出演】森田剛、臼田あさ美、西田尚美、村川絵梨、伊藤沙莉ほか	4,595人
他 9 件			5,990人

オ 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して、「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
平成 29 年度北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」	演劇的工場夜景ツアー 「ひかりとけむり」 「がんりう」船上 4月22日・23日 5月12日・19日・20日 5公演 ほか 3 件	平成 25 年度までの「北九州演劇フェスティバル」の名称を変更し、リニューアル 4 年目。「ものづくりの都市」として栄えてきた地域資源や生活文化を活用しながら、街なかを舞台に演劇やダンスを中心としたプログラムを開催した。	998人

カ 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援したほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施した。（いずれの事業も、イ 学芸事業、ウ 公演事業、オ 北九州舞台芸術フェスティバルの各事業の一部再掲）

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
シアターラボ2018	[戯曲講座] 北九州芸術劇場創造工房ほか ①『誰にでも書ける、あなたにしか書けない戯曲講座』 7月23日 ②『本格的戯曲講座』 8月～12月（全7回） [演出講座] 2月4日 [稽古～公演] 「ドップラー効果の求め方」 北九州芸術劇場創造工房 2月26日～3月11日 3公演	劇作家や演出家、更には劇団の結成等、次世代のリーダーの育成を目的として、劇場オープンから継続して取り組んでいる事業。戯曲講座を重ね、稽古場でのリーディング公演を行った。	207人
他3件			2,054人

キ 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
第47回 北九州市ファミリー劇場 —角笛シルエット劇場—	各市民会館、 黒崎ひびしんホール、 北九州芸術劇場 大ホール 5月29日～6月5日 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供した。	4,332人
他1件			908人

(2) 音楽文化の振興

ア 創造事業

響ホールオリジナルの公演を制作し、実施するほか、地域との連携による新たな取り組みを行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
YAHATA MUSIC PROJECT 響ホールフェスティバル 2017	[響ホールフェスティバル] ①本公演・関連イベント 響ホール 7月8日・9日 ほか1件	[響ホールフェスティバル] 本市を活動拠点とする響ホール室内合奏団と響ホールの共同企画。 2日間の公演及び関連イベントのほか、近隣小学校、JICA九州と連携し、1日目の舞台を彩る美術作品の制作ワークショップを実施した。 公演1日目は子どもも大人も楽しめる室内楽公演を実施。 【脚本・演出】浜田嘉生 公演2日目はオペレッタ「天国と地獄」短縮版を制作し、上演した。 【脚本・演出】泊篤志	3,319人
	[YAHATA MUSIC PROJECT (地域連携)] ①地域訪問コンサート 7月～2月(計8回) 八幡図書館、九州国際大学ほか ほか2件	[YAHATA MUSIC PROJECT (地域連携)] ①クラシック音楽に親しんでもらうため、民間企業や図書館等と連携し、訪問コンサートを実施。	

イ 響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
2017 響シリーズ第5弾 三浦文彰ヴァイオリン・リサイタル	響ホール 3月2日	ハノーファー国際コンクールで最年少優勝し、大河ドラマ「真田丸」のテーマ演奏で話題沸騰のヴァイオリニスト 三浦文彰とピアニスト イタマール・ゴランによる公演を実施した。	478人
他7件			4,425人

ウ 提携・共催・協力事業

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
上妻宏光 “Standard Songs” feat. 佐藤竹善	戸畑市民会館 大ホール 9月15日	福岡県退職教職員協会と共同主催により開催。 “伝統と革新”を追求し、津軽三味線の可能性を広げ続けている上妻宏光が、シングライクトーキングのボーカリスト佐藤竹善を迎え、ジャンルを超越し名曲達を奏でた。	641人
他2件			360人

エ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
市制55周年記念 パイプオルガンの響きと合唱 組曲「北九州」演奏会	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月11日	市制55周年を記念して、北九州市の文化財産であるパイプオルガンの演奏とふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会を実施した。 出演：北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、北九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか	1,369人
他14件			7,189人

オ 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図った。（いずれの事業も、エ 育成事業の一部再掲）

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
第41回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館 大ホール 7月2日	市内及び近郊の少年少女合唱団9団体による合唱の祭典。	863人
他1件			1,335人

※貸館時に、八幡駅発のお迎えバス（9人乗り）を運行し、響ホールの立地の改善を図った。（主催者一部負担3,000円）9回/年

カ 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
『木管五重奏とハープが響きあう至福のひとつき』～九響メンバーが奏でる響き～	響ホール 1月17日	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を図るため、九州交響楽団メンバーによる木管五重奏とハープによるコンサートを実施した。	227人
他1件（再掲1件含む）			1,369人

（3）芸術文化情報の収集及び提供事業

市内の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図った。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌「CulCul・かるかる」の発行	毎月1日発行／8,000部 5月号は9,000部	文化芸術・社会教育施設にまつわる記事情報と文化施設の催事案内を掲載。
北九州芸術劇場&響ホール情報誌「情報誌Q」の発行	年4回発行／16,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、地域文化を紹介した。
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	北九州芸術劇場プレイガイド、インフォメーション、アトライブラリー（アート&エコスペースを含む）、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行った。
北九州芸術劇場&響ホールチケットクラブQ会員制度	—	チケットの販売促進等のための会員制度。平成27年度より芸術劇場と響ホールの会員組織を統合して発足した。 特典：チケットの先行予約、ポイント積立による割引、公演情報の提供等 会員数：3,131人（平成30年3月31日現在）

（4）施設間の有機的な連携を図るための取り組み

響ホールと北九州芸術劇場をはじめ、他の文化施設等とも連携することで、異なるジャンルのアーティストが共に創作活動を行ったり、互いの施設の持つ専門性を持ち寄り、事業を実施したりすることで、地域の財産となる文化・芸術を活かした創造的活動の活性化を図った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
北九州芸術劇場× 到津の森公園連携事業 「どこをどうぶつる」	[関連企画] ①動物園内ガイドツアー 「どこをどうまわる？」 到津の森公園 (小倉北区) 10月14日・15日 ②ダンスワークショップ 「どっちが動物園!？」	北九州芸術劇場と到津の森公園の連携企画。動物をモチーフとし、ダンス・音楽などの要素を盛り込んだ作品づくりを行った。また、小学3～6年生を対象に、上演前に到津の森公園内ツアーを実施したほか、公演観覧後にダンスワークショップを行った。 【振付・出演】大植真太郎、森下真樹 【音楽・出演】田中馨	関連企画参加者 ①12人 ②8人 ①②合計 20人

	到津の森公園 (小倉北区) 10月14日・15日 [公演] 「どこをどうぶつ する」 到津の森公園 10月14日・15日 2公演		公演入場者 165人 合計 185人
他2件(再掲1件含む)			1,070人

2 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として運営及び管理を実施した。

施設名	平成29年度		平成28年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,641	277,035	1,676	277,063	△35	△28
響ホール	1,781	60,480	1,573	60,526	208	△46
大手町練習場	8,234	98,087	8,248	107,164	△14	△9,077
計	11,656	435,602	11,497	444,753	159	△9,151

※北九州芸術劇場は修繕工事により大ホール(H30.1.22~2.21)及び小劇場(H30.1.4~2.4)を一時閉館。

3 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行った。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで (指定管理)

4 埋蔵文化財の発掘調査研究

市などから委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存、普及活動等を行った。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び整理事業

事業名	遺跡名	区分	
折尾総合整備事業	菅原神社遺跡9-1区 菅原神社遺跡9-2区	発掘	
小倉城天守台跡石垣測量業務	小倉城天守台跡	発掘	
集合住宅新築（横代北町五丁目）	稗田川遺跡第4地点	発掘	整理
他23件		発掘10件	整理13件

(2) 報告書等の刊行

ア 埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行

- ・森屋敷遺跡第2地点など 全14冊（14事業）

イ 埋蔵文化財に関する調査・研究

- ・年報、研究紀要 各1冊

(3) 埋蔵文化財に関する普及活動

ア 遺跡発掘報告会

- ・平成29年度に行った発掘調査のうち、話題性の高い4遺跡について市民対象に報告会を実施した。参加者80名。

イ 埋蔵文化財速報展

- ・最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を3回実施した。

ウ 市民向け及び小・中学生向け考古学講座

- ・市民及び小・中学生を対象にした考古学講座を実施した。計13回、参加者延べ406名。

エ 現地説明会

- ・大手ノ勢溜り跡第2地点ほか1か所で、発見した遺構や出土した遺物を現地で学芸員が市民に解説。参加者700名。

(4) 埋蔵文化財センターの施設管理

埋蔵文化財の発掘調査や、出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。年間総入館者数は5,039名。

5 地域文化の情報提供

(1) 市民生活・文化の振興事業

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の刊行

事業名	時期等	内容等
文化情報誌 『CulCul・かるかる』の刊行	毎月1日発行 ／8,000部 5月号は9,000部	演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など約320カ所に設置し無料配布した。また、ホームページや電子書籍としても情報発信した。

(2) 書籍の販売等

市からの受託を含め、各種の書籍を市内書店及び当財団ホームページで販売した。

(3) 文化施設の情報提供事業（ホームページ）

「CulCul・かるかる」に掲載の記事と文化施設の催事情報をタイムラインで情報発信するメディアサイトの管理を行った。メディアサイトのアプリをダウンロードしたユーザーへ新着情報のプッシュ通知を行った。各機関からの情報や、取材などをもとにタイムリーな情報提供を行った。またミュージアムウィークおよび北九州市文化・観光施設共通観覧券事業開催期間中はメディアサイト上でも広報を行い、事業参加文化施設の企画展、常設展についての情報を提供した。

表2 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	297,032,999	265,192,732	31,840,267
未収金	108,513,219	79,096,002	29,417,217
前払金	3,277,542	3,399,452	△121,910
立替金	3,160	0	3,160
流動資産合計	408,826,920	347,688,186	61,138,734
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,623,443	14,733,517	1,889,926
施設利便性向上事業積立資産	8,706,800	3,000,000	5,706,800
記念公演事業積立資産	5,000,000	0	5,000,000
特定資産合計	30,330,243	17,733,517	12,596,726
固定資産合計	35,330,243	22,733,517	12,596,726
資産合計	444,157,163	370,421,703	73,735,460
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	253,063,544	195,498,281	57,565,263
未払消費税等	7,239,800	6,402,000	837,800
前受金	23,260,910	25,881,023	△2,620,113
預り金	10,677,454	9,946,917	730,537
未払法人税等	1,008,300	266,200	742,100
賞与引当金	21,636,038	22,515,763	△879,725
流動負債合計	316,886,046	260,510,184	56,375,862
2. 固定負債			
退職給付引当金	16,623,443	14,733,517	1,889,926
固定負債合計	16,623,443	14,733,517	1,889,926
負債合計	333,509,489	275,243,701	58,265,788
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	110,647,674	95,178,002	15,469,672
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,706,800)	(3,000,000)	(10,706,800)
正味財産合計	110,647,674	95,178,002	15,469,672
負債及び正味財産合計	444,157,163	370,421,703	73,735,460

表3 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	500	1,253	△753
基本財産運用益計	500	1,253	△753
受取会費			
チケットクラブ会費収益	959,100	604,900	354,200
受取会費計	959,100	604,900	354,200
事業収益			
指定管理事業収益	1,132,579,245	1,123,774,765	8,804,480
市受託事業収益	156,999,521	138,212,012	18,787,509
文化振興事業収益	111,388,730	199,424,289	△88,035,559
出版事業収益	345,680	294,569	51,111
埋蔵文化財事業収益	60,578,900	123,496,000	△62,917,100
手数料収益	3,253,416	3,589,172	△335,756
事業収益計	1,465,145,492	1,588,790,807	△123,645,315
受取補助金等			
受取国庫補助金	62,534,443	37,012,176	25,522,267
受取地方公共団体補助金	90,618,265	120,538,210	△29,919,945
受取民間助成金	10,151,000	3,651,000	6,500,000
受取補助金等計	163,303,708	161,201,386	2,102,322
受取負担金			
受取負担金	4,486,592	3,690,000	796,592
受取負担金計	4,486,592	3,690,000	796,592
雑収益			
雑収益	864,250	1,926,585	△1,062,335
雑収益計	864,250	1,926,585	△1,062,335
経常収益計	1,634,759,642	1,756,214,931	△121,455,289
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	7,400,520	7,360,520	40,000
給料手当	244,177,683	256,558,589	△12,380,906
臨時雇賃金	85,021,512	108,077,768	△23,056,256
退職給付費用	1,889,926	1,419,180	470,746
賞与引当金繰入	20,433,401	21,268,082	△834,681
福利厚生費	61,611,544	69,568,381	△7,956,837
会議費	10,656	22,970	△12,314
旅費交通費	6,581,160	6,973,650	△392,490
招聘旅費交通費	22,660,130	31,860,789	△9,200,659
通信運搬費	9,945,886	10,648,566	△702,680
消耗什器備品費	2,100,996	2,714,594	△613,598
消耗品費	15,640,972	17,888,888	△2,247,916
修繕費	5,746,751	13,803,458	△8,056,707
印刷製本費	20,169,853	22,684,080	△2,514,227
燃料費	566,035	468,055	97,980
光熱水料費	30,571,542	27,292,585	3,278,957
賃借料	35,059,527	40,273,608	△5,214,081
著作権使用料	655,132	965,867	△310,735
保険料	1,539,270	1,766,150	△226,880

諸謝金	22,469,754	22,823,212	△353,458
租税公課	32,392,614	34,114,900	△1,722,286
支払負担金	422,292,785	417,736,433	4,556,352
委託費	503,541,940	586,241,889	△82,699,949
工事請負費	6,327,612	11,167,213	△4,839,601
支払手数料	5,310,206	751,558	4,558,648
広告宣伝費	16,742,415	15,381,635	1,360,780
諸会費	221,544	219,600	1,944
ケータリング費	1,916,772	2,597,659	△680,887
雑費	261,868	1,046,678	△784,810
事業費計	1,583,260,006	1,733,696,557	△150,436,551
管理費			
役員報酬	411,000	455,500	△44,500
給料手当	19,213,119	15,048,592	4,164,527
賞与引当金繰入	1,202,637	1,247,681	△45,044
福利厚生費	3,838,586	3,173,253	665,333
会議費	41,173	42,027	△854
旅費交通費	275,110	175,730	99,380
招聘旅費交通費	80,720	51,760	28,960
通信運搬費	488,785	588,064	△99,279
消耗什器備品費	0	94,284	△94,284
消耗品費	516,392	505,420	10,972
印刷製本費	301,644	312,984	△11,340
燃料費	13,889	17,021	△3,132
賃借料	3,829,581	4,271,453	△441,872
保険料	67,350	96,610	△29,260
諸謝金	1,413,900	2,162,600	△748,700
租税公課	1,238,386	888,000	350,386
支払負担金	96,000	67,000	29,000
委託費	1,795,118	1,605,474	189,644
支払手数料	5,534	10,248	△4,714
諸会費	169,840	168,640	1,200
雑費	22,900	48,634	△25,734
管理費計	35,021,664	31,030,975	3,990,689
経常費用計	1,618,281,670	1,764,727,532	△146,445,862
評価損益等調整前当期経常増減額	16,477,972	△8,512,601	24,990,573
当期経常増減額	16,477,972	△8,512,601	24,990,573
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	16,477,972	△8,512,601	24,990,573
法人税、住民税及び事業税	1,008,300	266,200	742,100
当期一般正味財産増減額	15,469,672	△8,778,801	24,248,473
一般正味財産期首残高	95,178,002	103,956,803	△8,778,801
一般正味財産期末残高	110,647,674	95,178,002	15,469,672
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	110,647,674	95,178,002	15,469,672

資料 財団